京城日報

十二月十九日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇社會黨檄文配布 獨勞働黨員選擧執行

倫敦來電＝獨逸社會黨は伯林兵營内に盛んに檄文を配布し兵士がスパルタカス團の決議に對し社會民主々義擁護の爲め蹶起せんことを勸誘しつゝあり政府執政者は形勢の險惡なるに鑑み軍隊より軍需品を押收せんとしつゝあり一方スパルタカス團は國内各地に集會を催し群衆の騷亂を煽動しつゝあり斯の如く混沌たる形勢の裡に索遜のケムニッツに於て勞働黨員の選擧行はれたるが多數社會黨は獨立黨の七千票に對して實に七萬八千五百票の絶對的大多數を獲得せり、多數社會黨機關紙フオルウエルッ紙は此選擧の結果は重要なる意義ありこし自派の勝利に對して快哉を叫びつゝあり(東京特電)

◇ブ提督對獨通告

ブラウニング提督は獨逸に通告して曰く獨逸が海軍に關する休戰條項を履行せざるに於ては英國はヘリゴランド島を占領す可き覺悟を要すこ(倫敦電報)

▲附記 ヘリゴランド島は獨逸西北、北海中の獨海軍重要根據地にして大戰前英國より讓受けたるものなり

◇グレー氏海洋自由聲明

グレー氏は海洋の自由に就き英國の態度を聲明して曰く英、米兩國は海軍政策を協定する事容易ならずこの理由一も無し海洋の自由が平時に於ける議なりこせば英國は之に同意す現戰爭に勝利を得たるは英、米協力完全封鎖を爲したる爲めにて若し封鎖を爲す能はざりせば戰爭に敗れたるならん今後再び此封鎖を爲し能はざらしむる如きは道理上有り得可からずウイルソン氏の見解は國際聯盟規約を遵守する國には海洋の自由を許し之に違反する國には自由を拒否す可しこ謂ふにあらん然らば本問題を解決する者は國際聯盟なりこ(倫敦電報)

◇前墺帝民會候補志望

コペンハーゲン來電＝維納よりの報道に據れば前墺國皇帝カール一世は來る可き墺國々民會議の選擧に候補者たらんこの志望ありこ(倫敦電報)

◇智秘和解提議

華盛頓來電＝上院議員ホルク氏は智利秘露兩國間の紛擾事件を和解せしめんこして是を米國政府に提議し且つ全南米諸國も此の運動に參加せんことを求めたる旨言明せり(東京特電)

◇南北妥協一頓挫

南北妥協は北方が福建陝西の軍事行動を休止せざる爲め一頓挫を來せり(上海特電)

◇日本品輸入許可要求

紐育貿易商は戰時貿易局に對し來年度註文の爲め日本品の見本輸入の許可を求めたり日本品輸入制限は間も無く緩和さる可しこ信ぜらるされご現在の輸入制限撤回には多少の時日ある可し(紐育電報)

◇米鋼鐵管理廢止

米國政府は鋼鐵管理を十二月三十一日限り廢止し最高價額制廢止を聲明せり(紐育電報)

◇米化學事業休止

華盛頓來電＝戰爭を見込んで米國政府が開始せし多數の硝石其他化學工場の建設事業は休止せられたり(東京特電)

◇學校令改正審議

撤て樞密院特別委員會に於て審議み終了したる現行小學校令中改正の件及び中學校令中改正の件は來る廿五日の本年度最終樞府會議に附議せられ末松委員長委員會の經過を報告したる後審議せらるゝ筈なるが多分可決せらるゝならん(東京特電)

◇學位授與決定

文部省にては來る二十五日左記に對し頭書の學位を授與することに決定せり(東京特電)

(醫學博士)岡山縣平民甲本重郎▲大阪府同上野道麿▲石川縣士族清水繁松▲埼玉縣平民松岡英作▲東京府同酒井滋▲愛媛縣同齋藤秀雄▲大阪府同有澤純▲福岡縣同酒井和太郎▲東京府士族飛驒晋一▲石川縣平民山本直明▲東京府同大谷成祐▲愛知縣同植村俊二▲大分縣同安藤覺一▲(工學博士)兵庫縣士族長松武雄▲(理學博士)福岡縣平民古田親祐

◇立博士出發期

議和會議に出席すべき東大法科教授法學博士立作太郎氏は曩に上顎竇内の炎症の爲め佐藤耳鼻咽喉科病院に入院加療中の處全快したるを以て十九日退院來る二十四日正午横濱解纜の香取丸にて出發米國經由渡歐の途に上ることに決定せり(東京特電)

◇政友部會開會

政友會にては十八日午前十時より本部に於て政務調査大藏部會を開き殖産問題通貨問題等に就き協議したる後更に米價問題に就き協議し山本農相高橋藏相の意嚮を聽し訪問したる委員より報告あり該問題に關して意見の交換を爲し正午散會したり(東京特電)

◇政友栃木大會

政友會栃木支部大會は十八日午前八時より宇都宮市宮座に於て開催し小川平吉、大岡育造、古谷久綱、小林源藏三氏の外黨員二百餘名出席し宣言及び決議を可決し午後は政談演說會を開き大岡氏等の演說あり午後六時よりは八百駒本店に於て懇親會を催せり(宇都宮特電)

◇中村都督通過

中村關東都督は東上の途次十九日朝安東驛を通過せり(安東特電)

本紙定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奥田直
印刷人 小川三之介
電話番號 [illegible]

○上半貿易 前年に比し多大の增加

十二月上半期朝鮮貿易は輸移出に於て九百四萬百二十二圓を示し一月以降の累計は一億四千三十一萬三千三百四十圓、之を前年同期に比較すれば六十五萬一千圓の增加なり又輸移入は七百二十一萬四千三百十圓にして一月以降累計は一億四千七百七十五萬七千四百五十九圓前年同期に比し四千九百九十萬六千八百三十六圓の增加を示し輸移出入合計は上半月に於て一千六百二十五萬四千四百三十二圓、一月以降累計二億八千八百七萬七百九十九圓に達し實に前年の同期に比し一億一千五十五萬七千八百三十六圓の增加なり而して本月は百八十二萬五千八百十二圓の輸移出超過なるが之を一月以降累計に依るときは尙七百四十四萬四千百十九圓の輸移入超過を示し前年同期に比し千八百十八萬八千二百八十三圓の輸移入超過なり

○多大の經綸を抱いて ＝小幡駐支公使語る＝

十九日朝北行せし小幡駐支公使は刻下の支那問題に就て語る

▼妥協ならん

日英米佛伊の五箇國政府より勸告した、支那南北兩派の妥協は結局成立するものと見て差支なからう何故ならば刻下世界の大勢は如何推移してゐるか近く開かるべき巴里の講和會議には

▲國際間の平和 を永遠に繼續せしめんとする協調が國際聯盟てう題目の下に提議されんとしてゐるではないか、國際間に於てさへ既に然りである、然も支那が單り一國内に南北兩派分立し抗爭を繼くるこ云ふのは不自然も甚だしく世界の大勢に逆らふものこ云はねばならぬ、更に支那の國情を見るも民國元年以來既に星霜を閲する七年、時々小康を保ちしも南北の騷亂は依然ごして相踵ぎ今日に及んでゐる、その間幾千の軍隊を動かしたかは確實に知るを得ないが軍費の如きは恐らく幾億に上りしなるべく内爭の結果戰地方の學校は閉鎖して國民の教育は廢絶し、又殖産興業上に受けし慘害は計り知り難いものがある、現に長江上流の如き日本に輸出すべき物資を積んだ支那のジャンクが兩軍のために掠奪の難に遭つたもの、如きその數を知らざる狀態にありコハ一例なるも、要するに多數の人民は

▲戰爭に倦み 諸般の苦しみを續けつゝあるため一日も早く平和の日の來らん事を切望してゐるのである、更に南北兩派共に戰意の烈々たるものありやこ申せば決して然らず乃ち軍隊は双方より派遣され對立してゐても一向戰爭らしい戰爭のないのでも分る、結局世界の大勢こ支那の國內の事情こは將に支那の南北妥協可能なりとの斷案を下してよい狀態にある、以上は形勢觀であるが、更に之れを事實問題として見るも南北兩政府共に五國の勸告を歡び既に議和委員を任命し兩派共にその妥協の一點を見出さんとしてゐる唯上海その他色々の說も出で未だ決定せぬけれご何れにせよ兩國の議和委員は遠からず

▲講和談判 を開くに至るであらうこ吾輩は信じてゐる、然し乍ら支那の事は萬事が仲々難しい、一事こ雖も迂餘曲折を辿らねばその結着點に到達しない、從つて今回の妥協交渉も案より急に成立を見るや否は疑問であらう、然しそれは時日問題であるこ稱して可なり、支那も革命以來事亂を續けてゐるがその革命は未だ成功せりこ云ひ能はぬのである

▼對借欵方針

帝國政府の支那借款に對する態度は過般外務省より發表された通りである、要するに從來日本で引受けた多數の支那借款中その資金が正當なる目的に費されず或は政費に或は軍費に流用された形跡がある、それでは外國の誤解も招來するし又南方派の反感を買ふ事となるので結局南北妥協成立し國內統一するまで經濟借款にして確實にその目的のために使用するこ云ふものに非ざる限り引受けないこ云ふ事になつたのである

▲吉會鐵道借款 の本契約は目下北京で吾が銀行團こ支那政府の間に協調を續けてゐる、此分は純然たる經濟借款であるし成立する事こ思ふ、而してその資金の如き一時に巨額の引渡しをなさず支那で敷設工事を進むるに伴ない資金を要するだけ順次渡して行く事になるこ思ふから他に流用さるる如き心配はないのである、然も條件次第で支那政府が應ぜねば延期こなるかも計られない。

○西伯利亞に領事館新設 松島外務書記官の談

浦潮より歸途のオムスク領事館に赴任せる外務書記官松島肇氏は十九日朝京城通過北行せり氏は曰く

明年より西伯利の要地たるオムスク、イルクック、ブラゴエその他の要地に領事館の開設を見る事こなり居れり

▲領事館の新設 に就ては經費の點に於て兎角大藏省の査定を受け易きも日本の在外領事館は未だ僅々七十に過ぎず、之れを英國の八百餘佛國の七百米國の五百に比せんかその少數なる事殆んご問題こならず更に之れを露國の三百に比するも四分の一强に過ぎざるなり、加之日本の商人は官憲の先驅並にその調査により初めて進出を試むるを常こし獨自一個の力により外國に商圏の開拓をなすもの殆んごなし之れ吾が商圏擴張上領事館の增設を行はざる可らざる所以なり、講和來後日本の商勢は大に西伯利亞に伸ばざるべからず日露は實業的に提携し互にその福利を圖るを要す、今日帝國より西伯利亞に

▲多少の投資 をなしたりこて夫れに相當する收穫を直ちに求むる事をなさず漸次吾が商勢の露國侵入を企圖するは帝國の將に執るべき策なりこ思惟す此の點に就てオムスクに駐在せんこする予は全力を擧げて事に從ひたしこ考へ居れり帝國政府の西伯利財政經濟援助委員會には予は通商局第一課長こして關係を續け來れるが近く相當の活動をなすに至るべし彼の資本金五十萬圓の日露實業會社を資本金一千萬圓に增資せしめて政府より八百萬圓の低利貸附を行ひその活動を扶けんこする如きは一例なり唯西伯利の物資缺乏に對する供給は必ずしも財政經濟援助委員會の事業こせずこも西伯利の秩序にして整へば商人の

▲自由活動 に委して十分なりこの觀察も有力なる如し、予はハルピンに直行して約一箇月滯在し目下オムスクに出張中の佐藤ハルピン總領事の歸哈こ入れ交りに任地に赴く考へなり尙ほオムスクは全露政府の所在地こして重要の地なるが邦人の在留は往年閑院宮殿下露國御旅行の際オムスク驛に十餘名の送迎者なりし由なるも今日にては全く引揚げ終れる如し

○小幡公使通過

駐支公使小幡酉吉氏は赴任の途十九日午前十時南大門驛延着列車にて停車場に下車貴賓室に少憩同三十分發列車にて北行せるが或は奉天に一泊すべし尙ほ停車場には宇佐美長官、人見局長、久水課長、高納、三島、太田、片山各鮮銀重役、高野三井支店長その他の送迎多かりき

人事消息

▲中村安得氏(實業公論社長) 十九日入京 朝鮮ホテルへ
▲神林敬太郎氏(咸興炭鑛社長) 同上 尾へ
▲島田利吉氏(久原鑛業社員) 十八日入京天眞樓へ

◇西伯利形勢重視 政府積極的行動か 四相凝議ㇳ容如何

別項の如く十八日午前加藤海相内田外相田中陸相は原首相を訪問し長時間何事か凝議する所ありたるが會議の内容に關しては外間の窺知し難き所なるも事態は決して傍觀する能はざるもの、如し 即ち西伯利に於ける我軍隊の行動は目下單に後貝加爾以東の秩序維持のみを以て目的こせるも最近西方の形勢は決して斯の如き狀態にて傍觀するを許さゞるものあり此儘にて推移せば各國の爲め我國は不利なる地位に立到らしめらるゝやも知るべからず依つて此際若干積極的行動を執るの必要を感じたる結果に非ざるかこ觀測せらる(東京特電)

◇重案凝議

内田外相は十八日午前十時三十分首相を官邸に訪問し折柄來邸の加藤海相田中陸相こ外交上の重要事項に關し鳩首凝議する所ありたり(東京特電)

○期米激落 正米安より來る

仁川期米は内地各取引所に於ける米安こ政府の米價調節見越しを材料こする暴落を受け十八日午後より大幅の下押しを續けつゝありしが十九日前場も更に東京大阪の不勢を受けて激落し先限寄り附き三十四圓高値三十四圓廿錢止めの二十九圓八十錢中限は三十四圓三十錢寄り附き卅四圓廿五錢止の高値に比し

二百丁の暴落なり

▼前途は如何

米は十一月中旬以來奔騰又奔騰し目らしき押し目を作らず六百丁方の上伸を見正月物は去月十三日三十四圓八十錢てふ破天荒の相場を出現したるが内地熊本正米の崩落より出盛り期の正米稍軟化し内鮮共十五六日頃より形勢一變下押しを見るに至れるなり然も十九日前場二十九圓八十錢止めは高値より二百丁方の暴落にて此場幾千の下押しを見るかは疑問なり何こなれば正米も高値に比すれば一圓五十錢方の下落を見たれば此上の崩落は直に受取り難し期米の二十九圓底を割る如きは先づ不可能なるべく若しありこすれば直ちに反撥を來さずこ思はる

◇土調事務取扱

荻田土地調査局長は十七日附鈴木…等土地調査委員會事務局長不在中其の事務取扱を命ぜられたり

◇新設郵便所

咸鏡南道端川郡新上里に新上郵便所を新設し來る二十六日より電信事務及び電話通話事務を取扱ふこことなり廿日官報にて告示さるべし

◇海東物産認可

京城府松峴洞四十八番地尹定夏外六名より許可申請中の内外國物産の賣買及び輸出貿易委託販賣及び商品擔保貸付を目的こする海東物産株式會社(資本金三十萬圓)を京城に設立するの件は十二月十二日附を以て許可せられたり

◎京城陶器認可

朝鮮に於ける陶磁器の製造販賣及び之に附帶する事業を目的こする京城陶器株式會社(資本金十五萬圓)は京城義州通一丁目三十七番地久留田六三郎外六名より發起設立出願中の處十二月十二日附を以て許可せられたり

八面鋒

◇米國大統領は世間に持て囃さるゝほご偉き人物なりや否やを知らずこ雖も、國際聯盟、海洋自由の理想的問題を提げ、此の職士の上に天國を建立せんこ奮鬪しつゝあるは、さすがに前大學總長こしての行動に恥ぢず、政治學博士こしての吾等は實際政治家こしてのウイルソン君をさほごに難有く感ぜざるも、學者たり理想家たるの立場より、大に推敬するを辭せず。

◇江甲發電に依れば、米國人は、ウイルソン氏の十四條が歐洲在住の各國の現實政治家に容れられざるの傾向あるを見て、非常に懊惱しつゝありこ。磯節や箱根八里節に依りて賑はさる、宮樣に入野久子がベートーベンの月光曲を持來るは餘の結構過ぎて有難からざるなり。

◇閣臣の亂に、獨逸が遁び去れる支那の神大像を返附せしむべしこの議あり、賊品は當然所有主に返るべき筈なるも、此の所有主が内亂時代のために、何時破壞するやも知れず、保來の家寳がポツく\こ擲る狀態に在り。古代文明の標程を語る神大儀なごは最早秘藏するの必要なきやも知れず。

◇文官任用令を根底的に改正するは時世の進運に應ずるの道ならん、特別任用令を擴張して徒らに獵官熱を高むるは不可なりこの議論も有力者の間に唱へらる。當局の一考に値す。

◇若し政黨内閣なるが故に、黨員を任用するの必要ありこせば、寧ろ大隈内閣時代の政務官制を復活するに如かず。特別任用に依り、内閣交迭每に地方長官まで交迭を來たす如きあらば、決して國家の福利にあらず。

◇西伯利の形勢いよく紛亂し、我をして積極的行動を執るの止むを得ざらしむるに至れりこは、眞か。成程アノまゝにして置いては再び幾日の紊亂狀態に逆戻りするやも知れず、之を防遏するは帝國の天職にして亦其の威信を發揮する所以なり。

◇沍寒に指を墮すの時、軍隊の苦は深く察すべしこ雖も、佛を作りて魂を入れざるほごムダ骨折りなるはなし。快刀一斷亂麻を片つくるを要す。

函、板、棒、筒、輪、球 其他如何なる異形にても御注文に應じ製作可仕殊にこれまで本邦に於て製作至難こ稱せられし潛航艇用エボナイト製品は弊工場の最も得意こする處に有之候。
其他護謨製品一切製作仕候
エボナイト製品
海軍省指定工場 合資會社明治護謨製造所 東京府下品川
總代理店 合資會社米井商店本店 東京市銀座二丁目 電話京橋六三六―六三九
支店及出張所 大阪支店 大阪市東區今橋四丁目 神戸支店 神戸市榮町四丁目
門司、佐世保、横須賀、吳、京城、舞鶴、臺北、横濱、長崎、大連、青島、

迎年ニハ目出度イお酒お用ひ遊ばせ
澤之鶴
攝津灘石崎釀
特約店 京城本町二丁目 佐藤牧商店 龍山漢江通 佐藤牧支店 龍山陸軍構內 佐藤牧用達部

新家庭臨時增刊
家事科學展覽會
目下東京教育博物館にて開會中なる家事科學展覽會の完全な記錄と寫眞
同展覽會は社會の各方面から熱狂的の歡迎を受け今でも毎日出品の前へ立つて說明書を寫し取つてる方が澤山ある程です。本書は右說明の外更に各出品者の鄭寧なる解說と出品全部の寫眞を集めたもの、三色版三枚口繪寫眞五十二頁本文二百四頁。定價五十錢送料八錢
東京芝區芝公園九號 振替東京一〇一七七 玄文社

江戸の花名納式
創業明治廿貳年
新たに開業の御方又自轉車御營業の方へ(意匠登錄)
東京製自轉車に依て絶大なる信用を博し交通機關の公益を計り被下度候

自轉車卸商 杉野商店
東京神田末廣町
振替東京四八七七番 電話下谷八五一番 郵便私書函神田局四拾四番
C.A. "DAIMILLION" TOKYO

大正七年七月一日改正現行 [illegible]

◇大統領に昇がれたエーベルト宰相

◎休戰期間の延長は 眞の平和に向つて……

更に進行しつゝある表示だ

◇獨逸ではエーベルト宰相が ◇大統領に昇がれてゐるし總て民心緩和の秋が來る

聯合軍對獨休戰期間は十二月十七日午前十一時を以て滿了する筈であつたが更に休戰委員の間に協議整ひ是れを一箇月間延長して來年一月十七日を期限とする事となつた其筋には未だ情報はないが是れにつき某要路は語る『元來休戰期間の滿了の時に於て種々問題の起るもの或は戰爭の再開ともなり又は講和に向つて更に一歩を進めることもなるのであるが今度獨逸に對しても休戰期間を更に延長したとなれば夫れは愈愈平和克復に向つて更に進みつゝあることを示すので寧ろ喜ぶべき事である尤も今度の延期に就いては既に前から左樣した形勢が見ねて居つたのである、其處で一箇月延期したとなると期限は一月の十七日だからそれ迄には大體の形はつくかも知れない講和豫備會議の開期が一月の二三日頃と傳へられるし既にウイルソン大統領も巴里に居るし獨逸では宰相エーベルトが兎も角大統領に昇ぎ上げられ居るやうな始末だから其期間までには何うやら豫備會議も濟みはすまいが孰れにせよ斯うした事に依つて幾分は動搖せる獨逸民心を緩和する事も出來るであらう』

◇特使の宮 桑港に御著

◇御歸國の途につかる 東伏見宮殿下には米國公式御訪問を終らせられ御歸國の途桑港に御著ありたり（十七日桑港電報）

◎群山は米俵の山

木浦の梨は大きかつたね……

農作物は豐作だ

管内巡閲から歸つた 兒島總長曰く

十八日夜の北行急行列車が永登浦驛に著いたとき記者は一等室のドアを排して慌しく室内に飛び込んだ。すると兒島總長を始め太田少佐、時永安警視、國友警務課長、岡本警視其他一行十名が肘掛椅子に寛やかせ乍ら何やら談笑の最中であつた。イヨーとかヤアとか挨拶が濟むと内地の田舍見たいな挨拶が更に車内の空氣を賑がしくした。

▼總長は快活 に打笑つて『これや堪らん、又君方の襲撃を受けたね、併し乍ら南大門はもう直ぐだ、話してる暇はないから先づ安心だ』と先づ先手を打たれる。すると傍の國友警務課長が『それはエートコ（永登浦）で逢ひましたね』と諧謔を入れて氣勢を添へる『又巡閲中の感想をと來るんだねお土産話しは何にもないそれよりも京城の出來事を訊かうかね』と

▼總長の逆捻 ぢに搗てゝ加へて岡本警視が『感想（乾燥）無味だそうだ』と混ぜつ返して笑はされる。總長の曰くに『木浦の梨は大きかつたね、その大きな梨を三つも平げた連中も居たつけ。群山の米俵は山と積んであつた。大いに心強かつたよ』テナ事を云つて之でおしまひと云ふ塩梅に後は笑ひに紛らかし記者をして大いに感かして扨て

▼『今度の巡閲は第一天候の温暖な爲めに大いに助かつた、詳川、細川、全州、井邑、光州、木浦順で豫定の一週間を費したが何處も農作物は豐作だし警察狀態も概して成績が佳かつた。殊に年末に於て生活上より來る犯罪即ち小泥棒の如きものが至つて少かつたことは喜ばしい現象であつた』と

▼簡略に感想を發表した其中に列車は南大門驛に著しプラットホームには古岳副官や小笠田本町署長等が出迎へて居た……

◎葡國大統領暗殺

コペンハーゲン來電＝葡萄牙大統領ピエス氏はオポルドに赴かんとして夜半停車場への途上にて暗殺されたり（倫敦電報）

◎日本最初の大空中戰

◇來朝する佛飛行家…… 濱名湖上にて

近く來朝する佛國飛行將校フォール大佐以下二百九名、准士官三百二名は飛行演習地の視察調査等を爲す筈なるが明年二月中旬濱名湖上に於て爆彈投下の實戰的空中演習を行ふ由にて是實に日佛兩飛行將校聯合にて催さる、日本最初の大飛行演習なり、されば陸海軍將星及び貴衆兩院議員等も觀覽すべく濱松豐橋は之れが爲めに大賑ひを呈すべし（濱松電報）

京都阿彌陀ヶ峯の北麓から…… 黃金佛を發掘す

◇六寸五分の觀世音立像◇

京都大谷鉄道同下る加藤善太郎氏は洛東阿彌陀ヶ峰の北麓西本願寺所有地の土掘りに從事中十五日金色燦たる六寸五分の觀世音立像を掘り出し所轄松原署に屆出でしが右は藤原時代の作物なる由にて十六日午前十一時より京大文科大學講師西田直二郎同嘱託梅原末治兩氏は發掘地に出張して視察する所ありたり

◎梁起鐸身柄著

◇總監部に留置

既報の如く天津領事館より大連民政署に護送されたる梁起鐸の身柄受取の爲め十日警務總監部より派遣されたる東警部は大連民政署に於て引渡を受け陸路奉天を經由して十七日京城に歸著したるを以て梁の身柄は取敢ず警務總監部留置場に留置し目下嚴重取調中なりと

◎書籍六萬部を…… 容れ得る京城圖書館

―設計大體成る 岩井技師談―

圖八年中には完成＝解氷と同時に著手

京城圖書館は愈朝鮮ホテルの東に隣接した育化門内に建設される事になつて中村竹七郎氏の寄附に係る七萬圓は全部建築費に使用せらる、事となり建築設計一切を總督府營繕課の岩井技師に委囑中であるが同技師は此程大體設計を終了したので左の如く談つてゐる『建築は

◇煉瓦造り 二階建として書庫は特に四階建に構造した其間取は階下八室で最も大きいのは閲覽室で二十六坪此收容人員五十人次は兒童閲覽室で十三坪七五で二十人を收容する事が出來る事務室八坪二五と館長室六坪それから男女の食堂二室を構へ之が二つで十坪三七五となつてゐる其他は製本室の四坪三七五と番人室である階上は普通閲覽室五十五坪二五は百人を收容し外に特別閲覽室と

◇婦人閲覽室 とがあるが前者は九坪六二五後者は八坪一で共に十四人宛收容の筈である又階上の普通閲覽室は通俗講演其他有益な各種の集會に利用する事の出來るものとし此場合は三百人の座席を設ける事が出來るし又活動寫眞の映寫にも差支なき樣特別に附屬した活動寫眞を据附け室を設備した書庫は一番大切な所であるから特に注意がしてあるが四階建で耐火構造とし總面積七十坪、六萬部の書籍を入る、事が出來る設計は乎に

▽全部完了し 目下請負人に見積中であるから結氷中に準備して解氷と同時に建築に著手し八年中には完成の見込である』

□政務總監の禁煙

年末に際し斷行との仰せ

山縣政務總監が何にか公式に發表する事があるとの事故如何なる大事件かと御尋ねして見ると健康保持の必要上此の年末に際して愈々禁煙を斷行するとの事である、總監のシガー嗜好たる獨逸留學のハイカラ時代から始つて四十餘年今日に至つたものだ、然るに今や列強の大勢に鑑みてはちと大きいが巨頭仲間の堀田大地翁が已に久しく禁煙し近時復田井哲夫君も實行したと言ふので總監も大いに考慮の上らしい、酒も殆んど禁止同樣煙草も愈々嚴禁したから閣下の具合は非常に善い樣だが扨て手の際のやり先は愈々鬮を書く外ないからうと笑つて居た。

◎新博士

授與式には七人を 植村警官曰く

總督府醫院外科部長植村俊二氏が論文提出の結果醫學博士の學位を授與されることになつた事は曾て報道した通りであるが右は愈この廿三日に授與される事に決定した、總督府醫院に同氏を訪へば流石に微笑を湛へながら語つて曰く『私の提出した論文は卒目もお話した通り『松菓腺の解剖及び病理解剖補遺』及び『甲状腺結核特にバセドウ甲状腺腫の結核に就て』その他三種で前は二つ共獨文でその他の三種は皆邦文です、昨年の四月に提出して今年の十月に東大教授會をパッスしたからその間恰度一年半懸つた譯です、二十三日の授與式には私は到底出席することが出來ませんから代理を立てる心算で今日東京の友人に報して頼んで置きました』

『吾妻』と『常盤』

▲兄弟揃つて醫學博士

芳賀院長談

芳賀院長は語つて曰く『愈學位授與の日が決まつた夫は何より目出たい植村君は三十六年頃東大を卒業し長らく陸軍の軍醫を奉職した後常盤院の醫官を拜命したのであるが歐洲戰爭の勃發後間もなく留學を命ぜられ

▽瑞西に 一年半ばかり居た事がある吾輩の口から斯んな事を云ふと可笑しいか知らぬが非常な俊才で無理に論文を提出しなくても博士になるだけの實力は充分あるのだ、その上人格も高く人物として見ても溫厚で眞に一個の紳士と云ふ可き人である、今は外科部長の傍ら醫學專門學校の

▽生徒監 を勤めて居るが此の位だから生徒もよく心服して居る、尚植村君には令弟が一人居るがこの人が又植村君に劣らぬ秀才で此の人も亦この間醫學博士の學位を授與されることに決定した兄弟揃つて博士とは實に珍らしいことゝ言はねばならぬ、植村君の母堂は今年七十になるが嘸喜んで居られるだらう』尚植村新博士は

▽愛知縣 の人で陸軍二等軍醫夫人との間に二人の令息がある

◎兩戰死者の遺兒

父の戰蹟を弔ふ

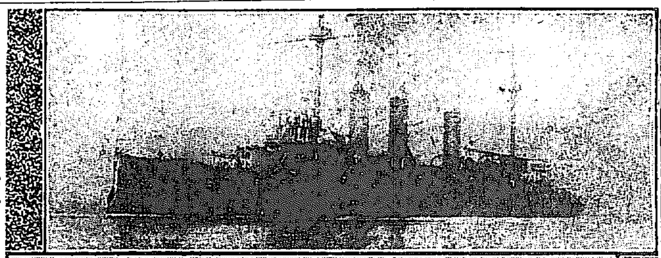
＝候補生として練習艦にて旅順に來る＝

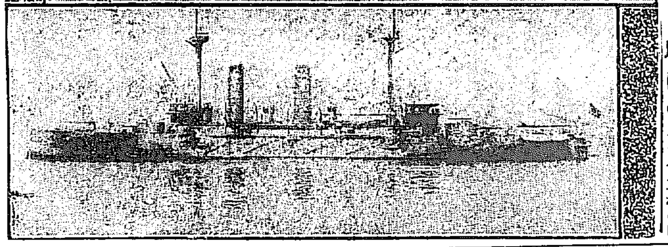
◇杉野兵曹長の息 ◇と高崎少佐の息

神潮、潮の佐指揮の下に第二回旅順閉塞船福井丸に乗り込み中に三共に名譽の戰死を遂げたる兵曹杉野孫七氏の長子收一氏は今回中少尉候補生として練習艦常磐に乗り込み旅順に航行中にて教官より當時の壯烈無比の精神を喚起せしむる狀況を説明せられ

▼感慨に堪へ ざる旨を涙ながらに語りたるが猶同艦乘組の候補生高崎正光氏は前旅順要塞司令長官たりし中將（當時大佐）閣下の戰死を遂げたる高崎少佐の遺子なるを以て旅順要港にては十九日午前兩候補生の爲め特に小蒸汽艇を出し杉野兵曹長戰死の黃金山砲臺下

▼福井丸沈沒 の箇所及び高崎少佐戰死の箇所に案内し弔祭に便せり（大連特電）





◎練習艦隊來らん

廿五日『吾妻』『常盤』候補生百廿三名を載せ舳艫相銜み仁川に入港す

二十六日は京城見學の筈

司令官中野直枝中將の率ゆる練習艦隊『吾妻』『常盤』の二艦は目下旅順入港中なるが來る二十日大連に廻航二十二日朝同地拔錨二十五日舳艫相銜みて仁川港頭に其雄姿を現はす豫定なるが艦隊乘組候補生百廿三名は廿六七兩日に亘り京城見學の爲入京すべく中野司令官亦幕僚艦長等を随へ入京の筈にして大正八年の元旦は鎭海灣に於て迎ふる豫定なりと因に同艦隊幹部左の如し

司令官海軍中將中野直枝、機關長機關大佐藤江逸志、參謀中佐高橋壽太郎、副官少佐中村寛、參謀大尉原清、司令部附主計大尉酒井茂吉

吾妻艦長大佐飯田延太郎、副長中佐[illegible]、航海長少佐[illegible]、砲術長少佐[illegible]、水雷長少佐伊藤眞一

常盤艦長大佐小松直幹、副長中佐[illegible]、機關長中佐[illegible]、砲術長少佐[illegible]、水雷長少佐[illegible]、航海長大尉[illegible]、主計長大主計[illegible]

◎名刺交換會

已未

來る大正八年己未元旦年賀の爲め例に依り京城名刺交換會を催し以て往來の禮に代ふるの儀は故て金谷京畿府尹並に釘本京城商業會議所副會頭の發起に據る議纏りたるが右贊成者は左記の事項了知の上會費金七十錢を添へ京城府庶務係へ申込まれ度しと

◇會場 會場は例年の通り南大門公立尋常小學校構内を以て之に當てられたり

◇日時 大正八年一月一日午前十一時より交換會開始の豫定

◇申込者 申込者は交換會の際の調製上必要に付自己の住所、職業（在勤先）氏名、原籍（府縣のみにて可なり）を記入することを忘るべからず

◇申込期限 申込期限は大正七年十二月廿四日限りにして期限經過後は一切謝絶することなり居れり

◎村山社長 緊縛公判

首魁に懲役五年

元大阪朝日新聞社長村山龍平氏を不法に緊縛し暴行を加へし東京市麻布區笄町内田良平氏方寓僕池田弘蔵（三一）外六名に對する公判は

◎仁川の天然痘

又復一名發生

仁川に於ける天然痘の流行は最近稍終熄に近づきつゝありしが十八日、至り又復内地人一名の患者發生せり罹病者は仁川町一番地豆腐製造販賣業門前幾太郎の三女きみ子（二）と云ふのにして發生と共に患家は大消毒を施し寺町病院に收容交通を遮斷し並に數日間豆腐販賣を禁止したり（仁川）

◎野澤破門

遂に本因坊から

圍碁方門弟野澤五段は遂に十七日本因坊より破門狀を送られ同時に本因坊は全國の門弟に對して野澤破門の理由を通達するの運びとなりたるが其通知には野澤は自分の門下でありながら師の作に對し僭越なる論評を加へしは勿論の態度といふべく從來も度々驕慢の態度ありたりと言ふにあり（東京）

◇阪東彦三郎◇　◇守田勘彌◇

◎勘彌と彦三郎

市村座を脱ける

◇勘彌は寶塚へ 彦三郎は浪花座へ

今中京の市村座にありて若手俳優として前途を囑目され居れる守田勘彌、阪東彦三郎の兩人は今回突然同座を退くに決定し興行を限りに其理由として勘彌は『我は人に感ずる處があつて今後は文藝座の爲めに獻身的に盡力する積りです文藝座は現在の所では別に關りを持つてゐる譯でもなし又興行する日がありませんが何れ關西方面に根據を置く事になるでせう』と語り彦三郎は『一座を立て、今後は浪花座で……甘一日から早速東上しますが……』と云ひ居れり

大阪地方裁判所池田裁判長、細川小判事係りにて十七日續行、此の日審理終り檢事は弘前に對し懲役五年、杉山竹三（三二）に對して懲役四年、内山福次郎（三五）大澤藏（二）、波多野松（二）淺野元吉（二七）阪上萬久藏（三二）に對し夫々懲役二年の求刑をなしたり近く判決ある筈（大阪）

◎吉野園營業停止

城古市町料理店吉野園は十七日午後二階座敷にて男女八名の大賭博の開帳事の如く博徒の群を招致して店主も其群に加はり賭博を開帳し居たるを以て十八日より向ふ三日間營業を停止せられたり

◎屠蘇が…… 素晴らしく 賣れる……

◇今年は値上の一袋十錢◇

歲の瀬が刻々と押し迫つて來た街の各藥店ではもう屠蘇の看板が貼り出されて愈々暮の氣分を緊張させて來た本年は屠蘇の賣れ方が昨年よりもズツと早くまだ内地から著荷しない前からドシ〳〵買ひに來るものがあると云ふ始末で從つて賣行きのいゝ事素晴らしいものでこんな年は稀だと云つて居る屠蘇の値段は二三年前迄は一袋五錢であつたが近來材料と包むモミがウンと騰つたので一袋十錢に値上されて居る尚本年は京城ばかりでなく隨分山間僻地からも注文がドシ〳〵來るので幾等あつても足りないと藥店ではより〳〵喜んで居た

四温日和

▲柳界三姉妹の一人美の家の神助と光菊が本町は明治屋へクリスマスデコレーションに見惚れて居るところへ、飛白になつてゐる中山の某と云ふ旦那が這入つて來た▲旦那を見付けて『旦那、ハ、ハ、クリスマル樣が見に來ましたから何か買つて下さいな』と云ふ、光菊が嘴を出して『あら厭だ、姉さん、クリスマル樣ぢやないわよ、クリスマスつて云ふんだわ』ホホホ……旦那も腹を立て、國交附に斷絶せんとしたので旦那早速連絡を利かし、光菊にはキユーピーを買つて與へ……▲廿一日から開業する席貸千代『さく〳〵』二人共足で仲直りをして……

灯ともし頃

▲十六日に朝鮮へ左樣ならした毛利五郎男の銃獵談に曰く約三週間ばかり駈廻つて鴨や雉や鴫など取交ぜ百五十羽を獲た雁も鴨も今ではもう遅れて居る▲併し河の上流には水が張つて居らんから少しの水溜があつても二三十羽位は降りるさうして距離も五六十間近くでやれるから撃つには譯はない▲雉は中々多い雉は内地の犬が駆付けられるので内地の獵犬は朝鮮の獵犬に位では飛立たない朝鮮の犬は仕込が違ふから縱横に驅廻つて狩立てるには及ばなかつた内地に持つて歸るには一羽に十五錢の國稅を取られるのだ相だネ

夜勤給仕入用

本社編輯局夜間勤務給仕一名入用（但し當地に父兄無き者は相當の身元引受け人を要す）

・京城日報社

◎咸興と大豆

◆各貿易商へ警告◆

[illegible]を以て咸興警察署に於ては從來道當局よりの依頼もありたるに依り去る十二日[illegible]後右樣の手段を弄する者ある場合は相當處分を爲す旨示達したるが奇貨とし仲買人は不正計量を爲して之が賣入を敢てする者あるを以て[illegible]大豆を[illegible]

◎慶北許可漁業

去る十月中に於る慶尚北道管内の許可漁業[illegible]は左の如し（慶北）

壹網	二	二	三
打瀬網	一	一	一
鯛流網	一	一	一
鮐曳網	一	一	一

桑員は十五日來安十六日歸任大石桐守備隊長山口中佐は來安中の處十五日午前歸任

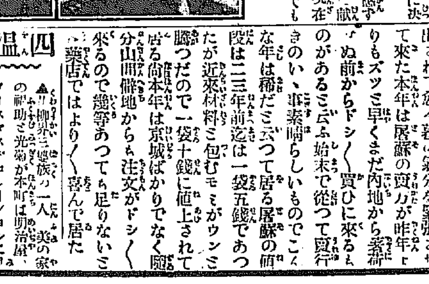
◎[illegible]上京客 十七

[illegible]五十嵐さよ、刑部田、李金常、木村三吉、河井多、小林弘、調武男、坊田知多子、辰巳臣、陳関有、魏文志、崔澤勇、大松郎、三好、山田まさ、高木鹿、竹内安守、福田守吉、光成、陳錫基、宮毛耕次郎、前田きや子、山本らく、片山直吉、清水花、李昌郁、中根ひろ子[illegible]

天氣 大 曇

大利益ある良副業 政府奬勵の緬羊飼育

▲農商務省では三年來外國から緬羊を輸入し北海道栃木千葉熊本に飼育した結果何れも好成績を得たので緬羊を無料で貸下げ其飼育を奬勵してゐる▲緬羊は小舍内でよく養はれ飼料は農家の廢物利用で買入れ其毛は各毛織物會社で喜んで買上げる一頭分の毛でも小包ぐらゐにして送れる▲そして一頭飼ふだけの飼料があれば緬羊一頭は優に八頭迄殖え一頭に付年五六十圓八頭では五百圓近くの利益が得られる且つ肥料も大に出來るから農家の副業としては是以上のものはあるまい▲東京神田表神保町大日本畜産研究會は最新緬羊飼養錄を發行し貸下願書其他の詳細な指導をしてゐるから希望の者はハガキにて申込次第規則書を送呈する。


ハロン號自動車

◇經濟的＝ 體裁優美 器械堅牢 燃料少量 ◇實用的＝

輸入元大連 西川光太郎商店

朝鮮代理店京城永樂町一 榮祥行 電話二一四番

御慶典記念

頒布員募集

李王世子垠殿下 梨本宮方子女王殿下 御双立御肖像＝表裝本仕立上＝ 同 實色御寫眞＝額面用

右頒布員至急募集す

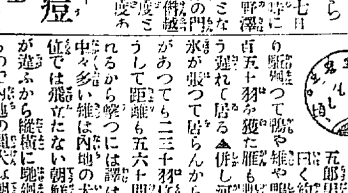
希望者は參錢郵券封入至急本會へ申込まる可し直に規則書を送る規定の人員を超過する時は申込を謝絶する事あるべし尚現品見本入用の向きは實費金壹圓九十錢送付ありたし

頒布所 東京市淺草區西三筋町卅五 日鮮慶典奉祝會（電略キ又はキタ）

新華 製縄機

藁縄及細太自由 二つ撚り機三つ撚り機 成績立証二年 特典附特約店募集 五回割拂 圖入營業案内は申込次第送呈

大阪大正區西詰 帝農商社


御買上金壹圓毎に景品券進呈

鞄は 製造元の 古賀鞄製造所

京城明治町二丁目 電話一八三三番

開店廣告

今般左記へ開店仕候間何卒多少に不拘御用命の程願上候

海產物各種 粕漬（鮑 明太ノ子 立貝）專業

京城旭町二丁目 三宅商店 取次電話二七三番

御贈答用樽詰折箱詰等取揃へ居候

○朝鮮にて獲れし珍鳥（上）

羽毛の美麗なること無比

……世界に少く泰西の學界に於て極めて珍重せらる◆鳥……

京城高等普通學校教諭 森爲三氏談

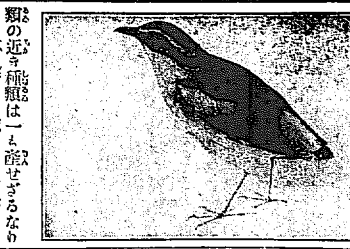
本邦産鳥類中、其の色彩の鮮麗にして複雑なること、ヤイロテフに若くものなかるべし。又其の産の稀なる珍鳥としても亦これに及ぶものなかるべし。彼の進化論の大家ワアレス氏の本鳥の複雑にして鮮麗なる色彩と美の極致なりと云へるは過言に非ずと云ふべし

斯かる珍鳥が此度朝鮮に於て採集

せられたるは誠に賀すべきことと云ふ可きなり。本鳥は學名をピッタ、ニンファテット、エスと云ひ、外見及び大きさと略鶫に似たり。故に一名を八色鶫と云ひ、英名もアントスラッシース或はグラウンドスラッシースと呼ばれをれり。されど鶫とは極めて類縁遠く、動物學上燕雀目中不等筋類八色鳥科と云ふ

特別の科に屬し

他の多數の鳴禽とは鳴管器に附着せる筋肉の状態に於て大いに異なれり。故に我國にありては之と縁



類の近き種類は一も産せざるなり

體色は實に華麗

にして複雑八色鳥とは實に名詮自稱と云ふべきなり。其の八色と其を帶ぶる體の部分とを擧ぐれば左の如し

（一）光澤强き空青色（羽毛中最も目立つ美麗なる部）小雨覆上尾筒及び尾の先端

（二）鮮紅色 腹部中央を縦に下尾筒に亘る部分

（三）橄欖色 背面一體

（四）青緑色 中雨覆大雨覆及び二列風切羽の先

（五）黒色 頭部中央を縦に走るもの嘴の基部より眼の下を經後頸にて左右及び頭部より來るものと合するもの翼の風切羽及び尾の基部

（六）黄色 眼の上方の眉斑、腮及び喉、腹部

（七）淡黄褐色 胸部

（八）白色 初列風切羽中央部の斑紋

右八色の中（二）の腹部兩股間にある紅色標條は恰も紅き揮をしめたるが如くなるを以て、本鳥は又一にアカダンナとも云ふ。又成裕の『飼籠鳥』にも『其の形狀噪鳥の如くにして

惣身五色の色を

具ふ腹下より尾下に至る迄赤し。村人是によつて丹下帯と云ふ。村甲男子の麗れと云ふ丹、麗布をしめたる樣に股下に赤毛あり』とあり。適確に其の特徴を表示せしめたる名稱と云ふべし。嘴と脚とは親大にして、翼と尾とは短小なり。其の長さの測定は左の如し

翼長四寸、尾長一寸五分、嘴一寸三分、蹠九分

世界に産する八色鳥科に屬する鳥類は約六十種あり。何れも

華麗なる色彩を

有する熱帶性の鳥なり。多くは馬來半島及び諸島地方に産し、其の他亞細亞、濠太利亞の太平洋岸に沿へる温暖なる地方にも棲息す。但一種のみは遠く西に離れて亞弗利加の西部に産するは奇なりと云ふべし。此の科の中本種は從來朝鮮、内地、臺灣及び支那に産すとせられたれども、何れも餘り多からず。殊に朝鮮、内地に於ては

極めて稀れなり

即ち此の鳥の初めて學術界に紹介されしは、有名なるシーボルド氏のファウナ・ジャポニカ中にテムミンク及びシュレーゲル兩氏により記載されしに初まるものなりて其後極めて稀に採集されしが、其等は英國博物館等に保存され居れり。我國人にして

初めて之を獲り

本邦學界に其の標本を提供されしは、高千穂宣麿氏にして、同氏は明治三十三年六月二十日豐前英彦山の西南面に於て獲られ、東京理科大學に送り、斯學の大家飯島博士に高覽を乞ひしを以て嚆矢とす其の後鳥取縣に於て二羽採集せられ、大學に其の標本所藏さるゝ位にして其の他博物館、學校、標本店に於ても所藏或は

取扱しこと絶無

と云ふも過言にあらざる程稀なるものなり。かく目につき易き美鳥たるにも係はらず、捕獲されたること尠きは如何に本鳥の珍稀なるかを證するに足るものと云ふべし。されど昔は今より多かりし樣にて、かの飼籠鳥八色鶫の條下にも『隅州の須本と云ふ所、又小林と云ふ所の兩村より出る。此の兩村は霧島山に近く。此の山中より秋に至つて出ると云ふ。此の

村人甚だ奇鳥とす

八月の頃より村民々蚯蚓を以て羽糊を掛て捕へ、蚯蚓を鄰籠の上に置きて飼につくるなり』とあり。以て稍多かりしを思ふべし。朝鮮に於ては從來確たる採集記録を有せざるなり。即ち從來朝鮮に産すとせられたるは東亞鳥類採集家として名高きジョーイ氏が對馬に於て採集せしを、クラーク氏が米國博物館に報告せるビュヤレー、ルイス、ジュイ氏の朝鮮鳥類調査書中に記載せしを以てなり。然るに最近本校教員嘱託高橋永造氏博物標本採集の目的を以て濟州島に出張を命ぜられ、九十三個の鳥類標本を獲て歸京さる。つきて之を見るに珍鳥ヤイロテウの完全なるもの数羽あるは驚異の至りなり。此に於て同氏の採集により該鳥の朝鮮に於ける産地を明かにしたる次第なり

○新しき製鐵所 奉天廠

谷沈氏の經營にかゝる富士製鐵所のあるも

○鮮人と滿洲の農業

六反歩の借地料が一ケ年に三十圓

改良式農耕法は却て失敗

肥料は要らぬが水が不足で困る

……追つては晝夜銀行式の簡單な金融機關が必要なり……

此の話は或る文字なき朝鮮人の話をソツクリ其の儘記述したものであるから隨分妙な所もあるが併し彼等朝鮮人が滿洲に對して如何なる覺悟を以て進出して來たかが覗はれるものと思ふから一寸記載して見ることとした（奉天）

此頃奉天附近には朝鮮人の農民が六千人以上居住して居るが大抵水田の經營者で其の他職業に從事してゐるものは極めて尠い、それで此頃移住者が毎日あつて

日によると百人位

團體で移住して

來る、是れが矢張り先住者の知人から夫々紹介状を貰つてやつて來るのであるから多くは水田經營の目的で來るのである其の水田經營をやるには普通順序が次ぎの樣な調子である先づ支那人の地主から

歸化朝鮮人が土地、

を借りる、其を新移住者が又借りをする云は、歸化鮮人は名義を出す丈けの事である、其の借地料は『一天地』……日本の反歩に直して約六反位……一年三十圓位であるが近來水田の有望なのを支那人が知つたものだから値上をして來たので困る、殊に昨年一昨年は旱害と出水とで一般は困つて居たのが本年漸く相當な利益を見たのであるから今餘り

値上げをされては

實際困る、が夫れは夫れとして本年は『一天地』の收穫が籾で二十六担以上もあつたのだから左程惡くもないで中には籾だけで六萬石位を得たものもあるが矢張り滿洲の水田經營も其の土地に慣れないと却つて手入をして損をする事がある、昨年抔は或る朝鮮人が朝鮮式に三度も除草をした所が稻の背丈けが非常に高くなつて結實も十二分であつたが例の

風で吹き倒されて

腐つて仕舞ひ却つて放りツぱなしの支那人式の農耕法の方が愈々の收穫は多かつたと云ふ樣な事もある、兎に角に水さへあれば肥料を要せぬと云ふ土地だから餘り除草でもやり過ごすと却つて不結果に終る事があるから先づ三年位は土地に慣れる樣にせねば駄目である只此の附近で

困るのは水が不足

である、支那にも水利局と云ふのがあるけれども左したる効果がある樣には見ねないので、本年から水田の有利を認めて水田局を設けたそして税金を徴收する相であるから是れも一つの厄介な事だと思ふ

更にモウ一つ困る

のは支那人が水田經營を開始した事である、是れが例の力を出して力から數へ立てると到底朝鮮人はドシ／＼經營を始めたならば實際に困らざるを得ない、土地から……及ばない、が

只一つ望みの綱

があるのは土地の廣い事であることで水田經營に對しては朝鮮人の方が今の處では能率が上がる事丈け、である人數は殖ゐる一方從つて生産も增加するので一つ

◆鮮人本位の金融機關◆

も一部人士中には必要であると認めて居る者もあるけれども一般は未だ知識が幼稚だから銀行なぞより却つて個人の確實な者で朝でも晩でも夜でも好い時に持つて行き持ち出される方を

一般は喜んで居る

のであるが而して全くないでも困るから今度其の機關を創めた譯である、現今朝鮮の人には一千萬とか一千五百萬とか云うてるけれども其んなに少い事はない、明治十五年頃即ち隆熙の前年でさへも

既に二千萬人と

云はれて居たのだから、で滿洲に居る鮮人許りでも二百萬位は十分に居ると思ふ、で將來滿洲に於ける米は其の

大部は必ず朝鮮人

の手に依つて作り出される事と思ふ、向後もドシ／＼移住して來て貰はなくつてはならぬと

は平壤船橋里に急工中なることは既報の如くなるが該工事は中村組平壤支店に於て請負ひ目下結氷中に拘らず工事を急ぎつゝあれば遅くも來春四月頃には全部の竣工を見盛大なる火入式を舉行すべし

○朝鮮に於て

漁網に用る生絲

自作自給狀態

朝鮮は三方海を以て圍繞し大小の多くの河川は内陸に分布せるを以て各地到る處に漁業の行はれざるはなく、從つて漁網の使用せらるゝ地域も甚だ廣汎なり。漁網の作成に多く麻絲綿絲を使用すと雖も亦生絲を用ふるもの少からず。大正五年の各道調査に依れば最近

一箇年に要する

漁網用生絲量は合計一千百九十四貫餘にして、其の價額は五萬六千二百八十二圓餘に上るべき見込なり。其の使用量最も多きは慶尚北道の七百七十九貫餘、慶尚南道の百八貫にして、前者は總使用量の六割五分を占め後者は其の一割七分を占む。之に次で多きは平安北道の九十三貫、江原道、黄海道、京畿道、平安南道、全羅北道等順次相亞ぎ、其の他無きは咸鏡南道なりとす

漁網用生絲の種類

は地方に依りて同じからず。即ち慶北、慶南、全北、成北の四道は概ね黄繭絲を使用し、忠清は黄白兩絲を、其他の地方は主として白色絲を使用す。黄繭絲は絲質强靭にして彈力に富み膠質分多き等漁網として

長期の使用に堪る

の特長を有するを以て慶尚北道の東沿岸に於ける鰊の漁業者に重用せられ、白繭絲は各地に於ける雑魚の漁獲用刺網、投網等に用ゐられ生絲の繊度は黄繭絲との間に區別なく細きは五、六十デニールより太きは百二十デニールに及ぶものあるも

最も多く使用せらるゝ

ものは七、八十デニール乃至百デニールなりとす（百デニールは大凡繭三十五粒の絲に等しく一デニールの太さは絲長四百五十メートルに付〇、〇五瓦の重量を有するものなり）是等の生絲は概ね

各管内の生産品

を以て供給しつゝあるも忠南、慶南、江原の一部に於ては尚州、咸鏡地方より全南の一部に於ては慶山、統營地方より、成北は京畿及び永興地方より其の供給を受け補充しつゝあり而して慶尚北道は近來

蠶業の改良に伴ひ

在來黄繭絲の産出殆ど其の跡を絶ちたる結果當業者は一時要知地方より黄繭絲の移入を試みたることありしも價格の不廉なる關係に依り一昨今に於ては全南、全北地方の在來黄繭絲を移入し其需要を滿たしつゝあるが如し。然れども同地方に於ける

黄繭絲の生産は

今年共に激減の趨勢に在り將來に於ても尚上述の如く黄繭絲の需要ありとせば或地點を指定し改良黄繭絲の蠶種を奬勵し以て需給の均衡を圖るの要ありと思料せらる。

戸口數 新義州（十一月末調）		
内地人	九三三	三、四一一
朝鮮人	八三三	三、三七二
支那人	二三八	二、三八四
合計	二〇〇四	五、六九六

○棉花の爭奪

此儘放任し置かば折角當局の

苦心も水泡に歸す可し

慶尚南道と全羅南道の棉種爭奪戰

慶尚南道陸地棉は全羅南道に亞ぎ古き歷史を有し本年作反別は實に二萬餘町歩にして收穫豫想六百萬斤なり然るに天候の順調ならざりし結果稀有の凶作にて昨年十一月中旬には三百餘萬斤の買收斤量に對し本年は僅に十萬斤に達せざる狀況にて前途寒心に堪へざる狀態を示せり明年度の作反別豫想二萬四千町に對し種子三百六十餘萬斤を要するに現在にては僅に十萬餘斤の種子を現存する有樣にて今後百餘萬斤の出棉ありとするも尚莫大なる種子の不足を生ずべく期既に遲れ原産地より種子を輸入するの途なく永年苦心奬勵せし棉作事業も不幸蹉跌を來たさんとする危機に迫りつゝありし明年度の種子の不足は獨り慶南のみにあらず慶北、全南も同樣の運命に陷りつゝあり此結果各道に於ては棉花

棉種の爭奪戰

演出せられ慶南は昨年より棉種を慶南道廳及び各郡にて協議を論ぜ中買集め策を講じつゝあるも到底十數名入込み道の指定價格より以上の高價にて買收すべき計畫をなし各村落を漁り一擧に數百斤を買收して其地に移送し値段を極力取締つゝあるも大資本家の後援あり損益を眼中に置かず斤量を集むるを以て主眼とし活動しつゝあるより後援者の爲めに買收され不足の種子は益々不足を生ずる如き現下の状態にて慶南の棉花事業及び棉作組合は不從者に依り將に根本より破壊されんとする憂状にありと當事者は概歎して居れり（晋州）

◇撫順より◇

……撫順に銀行……

撫順と云へば炭砿的に石炭と言ふことは腦裡に浮ぶ事である、而して近來此、豐富なる石炭を以て燃料とし瓦斯製造に坑に於けるモンド瓦斯製造に依つて起る所の電力は最も低廉なる故に此の電力を應用して各種の會社は設立せられ從つて土地の發展も著しきものあり之れによる金融機關の如きも正隆銀行、安東銀行の各支店及び撫順記錄會社等ありて何れも夫れ夫れ好成績を示して居る。此所に於て撫順在住者によつて經營する一の銀行設立の問題起り當時主唱者の第一回の會議を開き各方面に調査を行ひ總ての調査を終りたるより十四日第二回は一般の來會を求め創立の可否を諮りし所二三の者より尚早論ありしも大勢既に決せる由にて結局資本金五十萬圓を以て總株數一萬株百株以上を賛成員とし直ちに唱者より第一番に發起人を募集に着手せり、然るに今や各方面に就て其の意の有る所を聽取せるに個々別々にして前述の如く二銀行支店の外信託あり他に銀行の必要ありや否や或は不地に波亂を起すが如き事あらんと懸念せらるゝも大いに理の存するあれば元來大勢の要求する所は双手を擧げて歡迎するものなるも今は茲に參考として記する次第である

○魔の手に弄れし

虚榮の娘（一）

……平壤の街を彷徨ふ……

うらぶれの病婦

影に潜める ローマンス

暮に近づいた忙しい平壤の街を頭髮の薄い、着汚れのした顔を寒風に吹かせて身には汚れきつた縞入に黑襟の著いた紺の之れも既に著古した半纏を著て何處と云ふ當もなく彷徨ふ年頃二十二歳許りの女があつた一見病身らしいその歯持は誰の目で見ても判斷することが出來る、その風體から見ると機に田舎の料理屋にでも居た樣な、さうして身を持ち崩して恥も外聞も構はぬらしい、此の浅間しい哀れな姿を折柄通り掛つた巡廻中の巡査の目に止まつた彼の女は取敢ず平壤署の受付口に現はるゝ事となつた彼女は其の冷ゐた受付けの窓口に於て警官の問に對しつゝて口調で左の如く答へた曰く『原籍姓名年齢は佐賀縣三養基郡基山村大字園部二二〇久保山はなゑ（二九）といふものである、八歳の時父に死別れ翌年母は彼女の弟を連れて親の里に歸つた、彼女は父にも母にも捨られて氣を置く叔父の許に養はれた、然し彼の身を寄せた叔父の家は決して家計は豐かでなかつた、彼は十二年にして他家に下女奉公をする身となつて、それから約十箇年は他家を轉々と過ごして來たのであつた、本年十八歳を向へ〜彼女は國の從姉に當る内山ハル（又は井上ハルとも云ふ）なるものゝ朝鮮に來て料理屋を營めるが歸國して彼女を自分の手にて一人前の者にせんと渡鮮せしめたのは本年の二月頃であつた、而も彼れを渡鮮せしむるに就いては種々の甘言と巧言とで彼女の心を瞞つたのである、親に捨られて温かい影に育たなかつた彼女は一縷の望と慈愛の中に生れた、同時に一種の夢が深かつた、其の後より以上に虚榮の影がある、本に餅の生る樣な從姉の話を聞いた彼女の夢は實に濃きものであつた、然し夫れは眞に一時の夢想に過ぎなかつたのである』

○試驗の最中

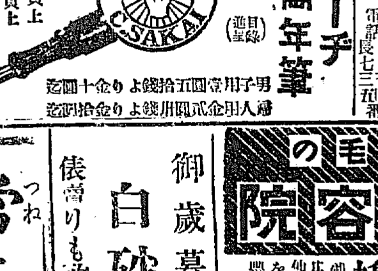
大慘事

日支人十八名死傷

滿鐵鞍山製鐵所の各部施設は八分通り竣成に近く來る一月下旬火入式を擧行する筈にして未完成の各機關設備の進行を見つゝあり十五日午後二時過ぎ同製鐵所の各關係の職工連之に就て着手中の高爐に至る地下管（口徑一尺二寸）の壓力を試さんとして一同約八十ポンドの高度を以て蒸氣を送り徐々に百ポンド百二十ポンドに至らしめんとする折柄一方に於ては指揮者の命を俟たずに諸器を外せしより一時に壓力に堪へ得ずして鐵管中の蒸氣爆發し附近に作業せる邦人組立工奥園清三郎（三池郡銀水村大字唐舟）は大火傷を蒙り同日午後死去し同組立工澤井秀一は顔面兩腕等に大火傷を蒙り其他に邦人一名輕傷を負へる支那人職工は王寶東は其場に即死し陳同義、劉洪起、路興心、王萬臣、李霖川の五名は入院手當中後死亡し張寶珍、劉俊山、馬云甲、杜云來、聚義、張忠義、張云和、趙影華の八名は孰れも輕傷にて滿鐵病院に入院せしめたるが孰れも皮膚は火傷の爲め糜爛し見るも無慘の状なりしといふ（鞍山）

失權ノ廣告
當社大正七年十二月十日引受一金壹千貳百四拾圓也 支拂期日大正八年一月十日 右朝鮮銀行及指圖人拂ノ爲替手形ニ付 記載ナシ 出人記載ナキモノ紛失ニ付 今無効トス
京城府南大門通 株式會社共益社

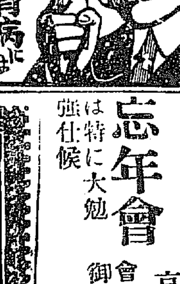
例年の通り
忘年會新年宴會は特に大勉強仕候御用命仰付被下度候
會席 御料理 梅の家
京城本町二丁目 電話長七三四番


賜宮内省御買上 賜各宮殿下御買上
ラーヂ萬年筆（進呈目録）
男子用 常用五拾錢より金十圓迄
婦人用 金製式四圓用錢より金拾四圓迄
到る處の文房具店にあり
東京市日本橋區蠣殼町 文房具問屋學習院御用 酒井長次郎商店 電話浪花一七番 振替東京四九五三

米國製捕獸器

けものとるきかい 新荷着
獸類の鼠より狐猫まで捕れます
御申込次第送呈仕候 定價表 往復ハガキにて御申込
京城黄金町一丁目（公園前） 吉川米次郎商店

京城日報社
觀音靈驗記（特別）
組大秘密 第十三報 第十四報 於黄金館
京日讀者優待券

強胃消化錠

小日向博士御處方 島田博士御鑑定
アナタの胃病には マーゲン
本劑の特色 ご博士確證の本
マーゲンは新式胃病藥と異り其卓効は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を増し胃病を治し溜くく胃を強壯にす
大阪市東區上本町五丁目 田畑保壽房

瓶類 京城古市町電話二七四六
畑兄弟硝子工場
其他一般の御注文に可應候 特製人蔘エキス瓶…に限る

軍隊拂下大安賣
茶褐外套、毛布、冬茶褐小倉服、アイボリーシャツ袴下、冬羅紗服、ジャケツ、軍帽、靴下、雨合羽 右特別大安賣仕候間多少に不拘御用命願上候
龍山元町一丁目 川本衣服店 電話五六、振替口座一五六九

下毒 便通 良劑
百毒下し は
百毒を下す
近くの藥店にて加藤の百毒下しを御指名お求めの上お試しあれ
本舗 加藤松翠堂

忘年會は特に大勉強仕候
會席 御料理 仕出し
京城旭町一丁目 權平庵 中井ゆく 電話二〇四六番

常に頭の惱める人 頭痛する人 便秘する人
確効ある腦神經病特効藥
島村博士の有效證明 健腦丸 服用あれ
主效 ▲神經衰弱 ▲血の道 ▲逆上症 ▲腦充血 ▲腦貧血 ▲卒中症 ▲頭痛 ▲耳鳴 ▲中風 ▲健忘症 ▲眩暈 ▲便秘
大阪 東京 本舗 丹平商會藥房

御歳暮には
白砂糖を……大和軒
京城本町 電話四八九番
俵賣りも致します

美容術と毛の 東京美容院
髮の毛 技師長北原十三男先生 發賣元 日本化粧品株式會社
説明書 贈呈
拔け毛 薄毛 其他毛のなき
色の白くなる藥 にきび藥
毛の美しからむを望まる方は世界に知られたる毛の大家北原先生の作られたる毛生劑幾種を用ひらるべし永久美毛に誇り得
御方は缺くべからざるもの 其他色の白くなる藥きめのよくなる藥を初めやせる藥
豐頰劑脱毛劑材料美顏料化粧品一切
東京神田駿河臺袋町 東京美容院

東京山本大印石版活版インキ特約販賣店
帝國火災保險株式會社 大阪海上火災保險株式會社 京城代理店
つちやたび並ニいろはたび朝鮮代理店
貿易 雜貨商 へ
京城本町三丁目 藤富國太郎商店 電話三〇八番 振替京城一七七八番

商況

東京株式特電

日前場　寄付　止め

東株新 … 二、八〇〇
同　新 … 一、九四、五〇
朝鮮銀行 … 一、五一、八〇
同　新 … 一、〇一、五〇
南滿鐵道 … 一、四一、五〇
第一新株 … 一、〇九、五〇
第二新株 … 一七、〇〇

東京現物中値

十八日

東京期米特電

大阪三品特電

十八日後場
寄付 三十七圓三十錢
高値 三十六圓八十八錢
安値 三十六圓八十七錢
止め

大阪期米特電

十二月限 … 三五五、〇〇
一月限
二月限
三月限
四月限
五月限 … 三三〇、二〇

兵庫期米特電

下關期米特電

十八日前場　前場
當限受渡高九千六百石建値三十九圓三十六錢
手仕舞關係にて保合ふも先高見越の手筋好買物あり

雜報

○正米低落す 荷主の賣物により下落しつゝあり當正米市場も昨日の如く仁川市場の弱氣を受けて…

恐怖の念兆し 新落の…

方へ低落 米三十四圓五十錢

今一瓦落

一圓近安

日米安模樣

一月中旬

前迄に悉皆片付

遂に地場賣込

皮革類强調

内地市場又軟化

大勢と反對强調

一時的人作用

銑鐵縮て不味

和紙市況歩合

香料は强合

下關場框

各地商況

釜山物市場

十八日

京城正米市場

方低落に先安見越し四五十錢

仁川正米

仁川期米

△十九日前場（大暴落）

先三十圓二十錢と二十錢安に寄付く

付

八十錢

暴落

八十錢と不勢

市場雜觀

物呼ひ優勢賣崩投

五百丁位の暴落

大阪の成行

强派の軟派筋

仁川米取引所十九日の二月限

北濱たより

▲鐘紡株

廿六番角力

毛谷村六助　九十四席

桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

澤村才八郎は後藤又兵衛に對ひ「成程、貴公の云はれる通り…」

又兵衛に馳走をいたして才八郎は…

○新義州雜俎

▼鮮殖重役會　▼兩行設宴　▼署長歸任　▼體操講演

○咸南の新郵便所

○幼年之友（新年號）

○少女之友（新年號）

十二月二十日

演藝案内

有樂館　愛國心　毒瓦斯と砲火　海の娘　壽館　英國軒ハレー一行　黄金館　大秘密　觀音靈驗記　浪花館　文樂座　大正館　指輪行衛　首變り大名　國の響

一千反限り　新機高貴織　十八金色指環進呈

實用防寒　毛布

中風病全快御禮

安全おしめカバー

大好評のゴム布製　製造元 田中商店

るいれき　グリグリ

ひぜん水　本舖 田知本和三郎製

花柳病 外科專門　司生堂醫院　電話三〇六五番

面白い程きく　かぜねつ　カギヤピリン　本舖 荒川長太郎

資本金六百萬圓　拂込金百貳拾五萬圓　株式會社 十八銀行京城支店　同 新龍山支店　同 龍山出張所

銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

日本優等清酒　特約販賣京城 島屋本店販賣部

フクムスメ

攝津灘 花木本家釀造

眼科專門　入院隨意　江頭眼科醫院　京城明治町東拓横　日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

社交界の花形紳士は……皆　日本に初めて出來た　美乳　愛用家！

本舖 大學目藥本店 矢野芳香園

診察時間　自午前九時至午後六時　初診の御方は可成午前中　京城長谷川町一丁目　シメノウチ齒科醫院　電話八一二番

汽車時間

京釜線（南行）（北行）　湖南線　京義線　京元線　京仁線

第四千三十六號 (一) (明治三十九年八月十日第三種郵便物認可) THE KEIJO NIPPO 大正十年十二月二十二日 (夕刊)

京城日報

第五版

○日支打合完了

京城日報
小幡公使赴任

一

病のために赴任すべくして、屢延しつゝありし小幡公使は、昨日を以て朝鮮を通過したり、若し途中滯留の事故の生ぜざる限りは、當に明日を以て北京公使館に入るべき日取なり。公使が北年有餘の責を以て、北京外交團中に畏敬せられたるは一日にあらず、其の風丰、故山座公使に彷彿たるものあるを想はしむ。吾人は公使が多艱なる支那外交の衝に當り、必ず一異彩を放つべきを期して疑はず。

二

是より先小幡氏が林男に代りて駐支公使たることの發表せらるゝや、支那人又は支那在住外人中に種々の流言を放つものあり、北京の新聞紙亦之に和して頗る人の耳目を動かしたり。言は固より虛構に出で、以て我が公使を疚しむるに足らずと雖も、未だ任地に赴かざるに先だち、評難の的と爲れるは蓋し鮮し。思ふに公使の氣鋭にして、深く支那の情僞に通じ、直截に寸毫を以て肺腑を突く底の行動は、其の公使館參事官たりし時代に於いて、既に露骨の顯を現はしたるを以て、彼等畏怖の極、根もなき流言蜚語を以て、中傷を試みたるものに外ならず。吾人は是に依りても、却つて公使が北京に於ける地位の、非常に重きを爲しつゝあるを看取す。

三

經濟的に於いて、國際的に於いて我と最も密切の關係あり、利害得失共に直接の影響を起すものは支那に若くはなし。而も我駐支使臣にして、從來刮目すべき行動を爲したるものは、之を先にして小村公使、之を後にして山座公使の兩個あるのみ。他は碌々として所謂襲に仍りて胡蘆を描きたるに過ぎず。知らず小幡公使は如何なる手腕を揮ひ、吾人が明目張膽に報いんとする。いふまでもなく當面の問題は南北協和に在り、帝國は五國勸告の中堅たる關係上、最も其の實現に努力せざるべからず。此の問題たる大勢の歸趨上、曲りなりにも一應は片付く時期の到達するならんも、實際に於ける支那の統一は、寧ろ其後の問題たらざるべからず。此際に於ては支那國內は勿論、諸外國特に在留外人間にも、最も複雜錯綜せる利害關係の纏綿せるあり、之を解決するの至難なる、今より想像するに餘りあり。而も例に依りて猜忌嫉妬、排擠陷穽の其間に行はるゝあり、公使の快腕を以てするも、周旋折衝決して容易ならず。加ふるに我が政府の對支方針が、從來動もすれば動搖を起し、在外使臣の境遇をして困難に陷れたるの例に乏しきにあらざれば、將來と雖も亦絕無なりといふべからず。此の如き內外雙方の壓迫に堪へ、能く國命を辱めざるは、尋常人の及ぶ所にあらず。吾人公使の前途を祝福すると共に、一掬傷憫の淚なき能はず。

四

遮莫、盤根錯節に當るにあらざれば、以て利器を別つに足らず。國家の重命を銜み、此の前途多艱の邦に使す、亦男兒の本懷たり。況んや帝國の支那に對するの地位は、日英同盟明かに之を規定し、日露日佛の兩協約亦之に承書し、石井ランシングの協商に至りて更に其の意義を明確にしたるが故に、世界列邦中其間に何等の疑惑を挾むもの之なき筈なり。公使たるもの宜しく其行動を公明にし、國際正義を基礎として、遠慮なき活躍を試むべきなり。西郷南洲曰く、男兒玉碎するも瓦全を恥ぢと、吾人請ふ之を以て公使の行を送らん。

獨逸革命の意義(四)

東京 一記者

革命の經過は略以上の如くであるが、其行動は實に露國過激派の如く殘忍暴戾の點なく、殊に政權の奪取、王室の廢位等殆んど

▽流血の慘事を見ずして行はれ、比較的秩序の保たれて居るものの如くである。然れども茲に獨逸當面の問題は食糧の補給といふことであつて、一朝其政策を過るやうなことあらんか、其れこそ國民の不平は遂に勃發して第二の露國とも化するの憂ひが無いとも限らない。されば新政府も當初から食糧問題の解決を標榜して專ら其補給を急ぎ目下米國に交涉中であるのである。而して這回の革命が案外未だ國內に一大慘事を演出するに至らないでゐるの主因は國民が窮乏を

▽救はるゝ日の來る可きを信じてゐるが爲めなる可く、されば食糧問題の解決は實に獨逸に取つては焦眉の急務なのである。之れに就ては米國大統領も同情して食糧補給の宣明を爲して居る次第であるから、其の解決も強ち困難では無からうと思はるゝが、之れよりも聯合諸國に對する食糧補給の方が、寧ろ先決問題であるとの說も行はれて居るから、獨逸は今遽に充分の補給を仰ぎ得可きや否や、一に今後の米國の態度に係るものと謂ふの外は無い。次に問題となる可きものは、軍隊主腦者の態度如何であつて彼等が一朝

▽部下を率ゐて新勢力に反抗するやうなことになつたならば、其れこそ國內に大擾亂を來すに至ることは明かである。然し昨年から今日迄の經過を見ると、彼等軍隊主腦者は前述の如く諾々として新勢力に服從して居る有樣であるから、今差當つて反亂を起すやうな憂ひは無きものゝ如く、又獨逸の獨逸軍隊は極めて秩序ある退却をしてゐるといふことである。然し軍隊主腦者の斯の如き態度が今回の革命を八百長であると觀察せしむる一因であらう。されど若し以上の二項にして吾人の

▽豫想に反するやうなことでもあらうか、其れこそ勢ひの走る所遂にボルセビズムと化し了るかも其れは圖り知ることは出來ないのである。革命の中心である獨逸少數社會黨は、其の抱懷する思想過激であるにも拘らず、露國の如き無秩序を演じなかつたといふことは、實に獨逸國民性の然らしむるところである。終りに於て當來の獨逸共和國に關し一言を下さんに、獨逸國の將來は民族主義の原則に依つて墺國內の獨逸族と合併するに至る可き形勢があるので、若し斯く獨逸民族が統一せらるゝやうなことになつたならば全獨主義者年來の主張と

▽相共鳴するに至るであらう。而して新獨逸國は却つて從來よりも民族上統一ある國家となるであらう。此結果新獨逸國はアルサス、ローレン人、波蘭人、丁抹人等合計八百七十五萬を差引くも結局人口に於て約八十萬を增加すべく、面積は講和會議前の今日之を確知することは出來ないが、結局は幾分增加することであらうと思はれるのである。尙ほ新獨逸國は社會主義者の勢力大なる可きに依つて、勞働組織、產業制度等社會政策的の施設は從來よりも一層整備するであらう。又た工業の發達は却つて促進せられ

▽戰敗の傷痍は案外速かに回復することであらうと信ぜられる。又露國革命以來民主的思想は瀰漫として全世界に廣がつて居るが獨逸の革命も主として其れの影響があつたものだといふことが出來る。然し若し獨逸今回の革命が平穩に遂行せられずして、獨逸に露國の將轍を踏むやうなことでもあつたならば、其れこそ過激思想は全世界に傳播するに至るやも知れない。之を要するに獨逸革命が今後尙ほ平穩に遂行せられるや否やといふことは、實に全世界に甚諸の利害關係を及ぼす所の重大問題であるといふことが出來るのである。(完)

本紙定價 … 廣告料金 …
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 …
印刷人 小川三之介
電話番號 …

列強對支那經濟發展(六)
山東鐵と鑛山(續)

山東鐵道の布設は彼の有名なる獨逸の地質學者リヒトホーヘンの調査に基き實行せられたるものにして其通過地方はリヒトホーヘンの所謂鑛山地方を經過して鑛山採掘の地步を作らんとするに特に意を須ひたるの形迹蔽ふべからざるものあり現今の青島より濟南府に到るには

▲幹線の延長は三百九十五基米突にして此幹線より鑛山地方其他に五箇の支線を有す其重なるものを擧ぐれば博山支線にして延長卅九基米突なりリヒトホーヘンが石炭の寶庫と激賞したる博山は實に此終點なり而して同支線は淄川驛より更に七基米突の淄川支線を延長し淄川炭田の礦石運搬の用に供せられつゝあり坊子驛より坊子炭坑に至る延長四基米突の坊子支線及日獨開戰以前起工せられたる萬家嶺鐵山に至る支線七基米突も是亦專ら鑛山開掘の目的に出でたるは云ふ迄もなし且濟南より黃河の要津濼口に至る八基米突の支線が商業上の目的を以て敷設せられたるに過ぎず從つて其搬物の大半は石炭及びコークスにして此利益は尠からず

▲鐵道の運貨を潤澤ならしむ加ふるに是等線路の經過地方たるや春秋戰國に有名なる齊の故地なるが故に山東省中人文夙に開け土地も頗る豐饒なり而して膠州、高密、靑州、濰縣、周村、博山、濟南等の要津巨邑相連りて貨客の集散亦決して乏しからざるを見る山東鐵道の貨物は石炭及びコークスが其總噸數の過半を占め石油、生牛、雜豆、綿、木材及木製品、紙、砂糖、豆油、落花生、牛皮、麻、獸脂、綿布、鱗寸紡績絲等の順序を以て搬出せらる獨逸の山東鐵道會社が經營せる當時に於ても其統計の示す所に依れば平均一日の輸送貨物が約二千二百六十六噸にして乘客數約三千二百八十人と云ふ計數を示したるに見るも其經營狀況を知るに足らん同鐵道が

▲如何に有望なる前途を有するかは過去の經營狀態に照應せば明白に了解するを得るなり即ち同鐵道の經營の初期たる一千九百零四年に於ては旅客數五十萬八千餘人輸送貨物十七萬九千噸に過ぎざりしが一千九百十二年度に至りては旅客數實に百二十六萬餘人に上り輸送貨物八十二萬七千餘噸に激增したり僅々九年間に旅客數に於て十二割五分貨物に於て三十五割を增加したるものにして其順調なる發達は支那に於ては他に類例なきものと謂ふべきなり而も斯く鐵道收入が躍進的に增加しつゝあるに反比例して其營業費は年々に減少しつゝありたるを見る即ち一千九百五年度に於ける會社の營業費は收入の

▲五割を超過したるものなりしも其翌年には三割九分となり其翌一千九百七年には三割六分に遞減し開戰前には二割六分に減じたれば山東鐵道會社の利益は頗る巨額に上り最も順潮なりし一千九百十二年度に於ては純益實に六百八十二萬七千八百三十七馬克を得るに至り法定積立五分特別積立五分其他猶ほ繰越金を爲したる上株式に對しては七割五分の配當を爲すに至れり此の如きは先天的に獨人が鐵道經營に優越せる性能を有するを示すものなりと雖も又山東鐵道の線路が如何に經濟的有望なるかを證するものと謂ふべきなり鐵道既に此の如し然らば其附屬事業として經營せる鑛山は如何山東鐵道の經營せる鑛山業は膠州灣租借條約に依りて獲得したる

▲鐵道の收入は兩側各三十淸里即ち十哩內外の鑛山權を目的としたるものにして其初めは山東鑛山會社を設立して之が經營に任ぜしめたり山東鑛山會社は鐵道會社と同一なる獨逸資本團の出資事業にして資本金一千二百萬馬克(內百八十萬馬克未拂込)を以て一千八百九十九年に創立せられ一千九百零一年濰縣坊子炭坑の採掘に着手したるを始めとし博山炭田即ち淄川淄川等炭田を經營しつゝありたるが一千九百十三年に至り終に山東鐵道會社に合併せらるゝに至りぬ是等の炭田は採掘當初に於ては炭質稍不良にして且つ出炭量多からざりし結果會社としては毎年缺損を見るの狀態なりしが爾來漸次に

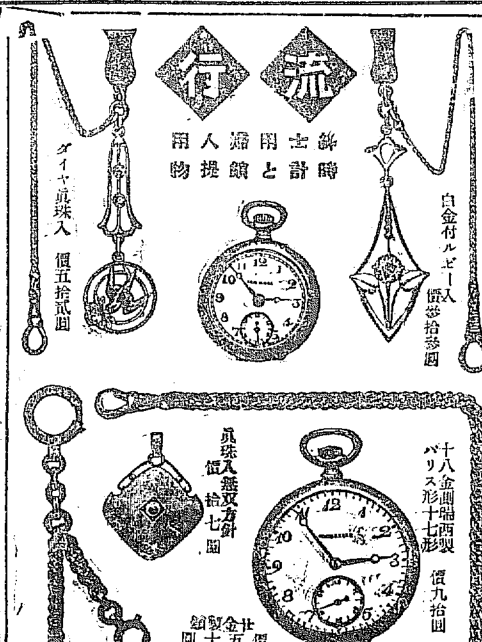
▲炭質も良好となり同時に出炭量も增加したる上炭田に於けるコークス業の成功は次第に利益を上ぐるに至り一千九百十二年度には約百萬馬克以上の純利益を見るに至れり但坊子炭坑のみは一千九百十二年度迄は約四十萬噸位を產出したるも其翌年度には二十萬噸に減じ以來廢坑同樣の運命に陷りたるが之に反し淄山淄川の兩炭坑は孰々有望となり一千九百十二年度には兩坑合計約二十萬噸に過ぎざりしも其翌年には四十萬噸に近き產出を見逐次增加して結局百萬噸採掘の設備を整ふるに至れり其他金家嶺の鐵礦採掘も着手したるのみにして其成績は明かに知ること能はず(未完)

碧瑠璃園著(最新刊) 鍋井克之裝幀 總布表紙函入 定價壹圓五拾錢 送料內地八錢滿鮮二十五錢

多賀兄弟仇討 寛永曾我

本書は仇討叢書第一編として見るべく幾度か邂逅して打ち洩し打ち洩し無念の涙を呑んで悲憤慷慨の年を經る幾年遂に大炊殿橋際に於て多年の素懷を遂ぐ事件の紛糾錯綜せる遂に彼の曾我兄弟の上に出で興味亦た更に深し時人之を稱して寛永曾我と云ふ誠に所以あり一讀骨鳴り血湧く

發賣元 東京京橋桶町一五 大阪三休橋南詰 株式會社 大鐙閣 振替東京三三六一八番 大阪二七一五五番



目下天賞堂は福引景品付大賣出し中

大阪心齋橋 天賞堂大阪支店 電話船場 七三三・一四一三

朝鮮總督府編纂(最新版)

朝鮮法令輯覽

定價十二圓 送料三十六錢

京城本町 大阪屋號書店 振替京城二五七三 電話六〇八・八四六

十二月新譜(お正月のも出ました)

平和の喜

年末やお正月の贈物にはニッポノホン蓄音器と鷲印レコードになさい
新らしき曲種 新らしき演奏者 新らしき趣向 新らしき用意は ニッポノホンの誇です
ニッポノホン蓄音器と鷲印レコード(両面盤) 定價金壹圓貳拾錢
▽どんな所が改良されたか 讀んで解かる面白い
○十二月月報(進呈す)
○西洋名家新レコードの新譜も來月出ました

正月新譜
○清元 喜撰(両面二枚) 清元喜久太夫
○芝居 忠臣藏十一、十二月 田中傳左衛門
○俚謠 金山節 盛岡、かや、づる、一助
○義太夫 帶屋の段 竹本錦太夫
此外神の娘、五目浪花節、あやめ浴衣、七福神等
○長唄 新曲浦島(両面四枚) 芳村孝次郎
○俚謠 磯節 名人安中
此外神田祭、鉛さび、忠臣藏十二ヶ月、家庭鞄、金色夜叉等

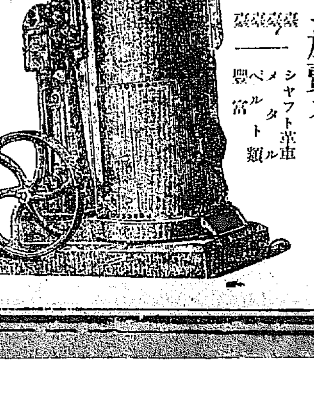
朝鮮京城本町二丁目 日本蓄音器商會 電話貳八參番

年末支拂ハ例年ノ通リ十二月廿六日午後四時ヨリ六時限

普通支拂ハ例ノ通毎月十日午後五時ヨリ六時卅分限リ

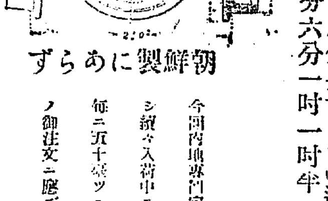
在庫品當工場所在
先安ヲ見込格安ニ放賣ス

機汽 百二十馬力 三十五馬力 十五馬力 十馬力內外 五一各種一
シャフト車 メタル ベルト類 豐富



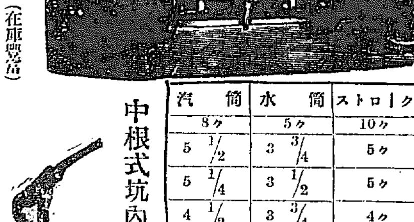
鑛山用八角鋼 保税品所在地 京城仁川鎭南浦
六分十二噸 七分三トン 八分三トン 高速度四分六分一吋 道具用四分六分一吋一吋半

チルドル製
▲在庫五百臺◀
土工用車輪



朝鮮製にあらず
今回內地專門家ト契約シ續々入荷中ニ付廿日毎ニ五十臺ヅヽ六百臺ノ御注文ニ應ズ

兩ツル手持一阡二百丁



五十尺以上保證ス(在庫豐富)

中根式坑內用押揚喞筒

汽筒	水筒	ストローク	臺數
8ケ	5ケ	10ケ	2
5 1/2	3 3/4	5ケ	2
5 1/4	3 1/2	5ケ	1
4 1/2	3 3/4	4ケ	3
複式ウオシングトン喞筒			
汽筒 6ケ	吸水管 5 1/2	排水管 4ケ	1
ドンキ喞筒			
汽筒 3ケ	排水管 3/4	吸水管 1ケ	2

口徑	數
10ケ	1
8ケ	1
7ケ	2
5ケ	2
4ケ	3
3ケ	1
2 1/2	1
2ケ	2

鐵管及ゴムホース綿ホース各寸法品揃ヒ

東京鋼機株式會社 東京製鋼株式會社 中根式坑內用押揚喞筒製作發賣元
○虎印八角鋼朝鮮發賣元
朝鮮總代理店
京城南大門外 電話一〇四番 中根商會
京城岡崎町 電話一五六番 中根工場

◇英講和委員著期

英國首相、藏相、外相等の講和委員は十二月廿一日巴里著講和豫備會議は一月一日ヴエルサイユに於て開催さる可し（倫敦電報）

◇獨軍隊最後通牒

巴里來電＝伯林に於ける獨逸軍隊は伯林政府に最後通牒を送り執政官の權能制限及びリーブクネヒト並にヒンデンブルグの捕縛を要求せり（東京特電）

◇獨革命記念祭日

巴里來電＝チユーリツヒよりの報道に曰く伯林政府は一月一日を以て革命記念祝祭日と定むることに決定したり（東京特電）

◇クルツプ會社設備變更

獨逸クルツプ會社支配人は同會社の設備を變更し單に平和的材料のみを製出する工場と爲す意嚮を漏らせり（紐育電報）

◇輸入制限撤廢要求

紐育＝米國會議所は輸入制限を撤廢し米國諸港に碇泊せる多數の獨船をして外國航路に復活せしめん事を政府に要求せり（紐育電報）

◇英佛露國統一反對　ケレンスキー米國記者に語る

ケレンスキーは米國新聞記者に語りて曰く英佛兩國は露國の統一を以て其國際的地位を復舊するものとし統一に反對しつゝあり英佛の態度は第二のブレスト、リトウスク條約を强制せんと圖り居る事を示せり余は米國が露國を保護せん事を望むと（紐育電報）

◇オムスク銀行現在金高

オムスク政府藏相の發表に據れば十二月十二日現在私立銀行持合せ金は三十二億五千萬留國立銀行現在高九億六千萬留なり右私立銀行とあるは過激派の手より免れたるものなり（哈爾賓電報）

◇南北安協行惱事情

北京來電＝一時濃厚となりたる支那南北安協氣分は最近南方側が議和根本問題を破壞し案外强硬なる態度に出で來れるより又復行惱みの姿となりたるが右は南方の策士が北京に入込み北京政府財政の著しく窮乏せる事實を南方に報告したる結果南方側は今一息奮鬪せば北方を屈せしめ得べしとなし故らに虛勢を張りつゝあるものにして更に外交團より何等かの交涉來るに非ざれば支那の政爭は容易に埓明かざる模樣にて未だ樂觀を許さざる形勢にありと觀測せらる（東京特電）

◇支那公使交迭乎

北京來電＝十七日國務院會議にて前日耳義公使王士賓を瑞西公使に轉任せしめ最近渡歐せる魏宸組を日耳義公使に任命することに內定し二三日中國會に提出して同意を求むる筈（東京特電）

◇小倉師團慰問　桑田侍從武官

侍從武官桑田砲兵大佐は十九日朝小倉著師團司令部に於て仙波師團長に聖旨を傳達し午後留守步兵第十四聯隊及び小倉聯隊區司令部を慰問し同夜梅屋旅館に投宿せり（門司特電）

◇貿易組合決議（東京）

安東輸出貿易商組合は十八日午後三時より商業會議所に集會し支那商務總會の銀の建値を上海相場に據る決議に對抗する爲め爾今金建に非ざれば一切所有品の取引を爲さざる事に決議したり（安東特電）

◎鮮鐵荷動概況

滿鐵京城管理局調査に依る十一月中の鮮鐵荷動き概況を聞くに發送噸數十八萬九千四百六十五噸收入六十六萬四千二百三十七圓にして之を前年同期に比較するときは數量に於て七千五百六十八噸三分九厘を減退したるも收入に於て十五萬七千七百五十五圓二割三分七厘の增加を示せり今其荷動きの主なるものを擧ぐれば石炭二萬九千七百十四噸米二萬一千八百八噸鹽一萬二千百七十七噸木材九千二百五十九噸大豆八千九百九十噸鑛石七千百八噸穀類六千三百九十一噸金物類四千四百三十二噸軍需品四千二百八十六噸に豆粕三千四百二十六噸鹽干魚三千二十二噸等にして前年同期に比し增減の著しきものは米九千二百九十八噸減石炭六千七十六噸軍需品三千百八十三噸增大豆三千三百七十噸減鹽二千三百五十五噸增金物類二千五百五十五噸增木材二千噸減煉瓦一千九百十噸減等なり而して主要貨物の出荷狀況を概觀するに左の如し

▲石炭　同月中の總數量は二萬九千七百十四噸にして之を前年同月に比すれば六千七十六噸の減少を示せり是は平壤炭鑛所無煙炭に於て海上の運送途の停滯の如く、らず爲めに徒らに鎭南浦に停滯を生ずるのみなるを以て之が發送を減縮したるに因るものにして前年度の二萬四千二噸に比し本期九千八百七十四噸にて半減せらるゝの大不況を示せり然れども安東發撫順炭は前月に引續き輸入旺盛を極め一萬三千二百二十一噸に達せり、著驛としては龍山最も多く七千五百七十六噸を算し平壤發二千三百噸浦南大門成歡新安州其重なるものとす

▲米　は作柄良好と外米關稅撤廢說とに依り前月末稍軟化したる內地相場も本月に入りて本年度第二回收穫豫想高平年作に比し三百餘萬石減收の發表に依りて昇騰の氣勢を示し加ふるに外米又產地不作說傳られ內外の市價相呼應し米界又々悲觀に傾き漸くして中和來さく外米關稅撤廢も一向に調和の資たるなく相場は益々强硬を呈せし爲めつて鮮米を見るに本年收穫高は平年作に比し六七十萬石增收見込にて幾分弱氣なる可く觀測せられたるも大勢既に斯の如く强氣配を示すに至り勢ひ之に同化せられ賣惜みの氣味あり加之惡性感冒流行の爲產地收穫遲れ爲に出荷捗々しからず前記の通り前年同月に比し約九千三百噸の減少を示せり然れ共納稅期迫り居るを以て向後產地出廻旺盛なる可く月末既に一日千二三百噸臺に上り日を逐ふて增加の傾向を示せり同月中に於ける發驛の主なるものを擧ぐれば鎭南浦論山大田保寧金泉鳥致院天安群山浮島山水原南大門裡里金堤泰仁群山沙里院等南市等にして發驛としては依然釜山が一位にありて七千八百噸南大門二千三百四十噸仁川一千九百四十噸群山一千八百二十五噸之に次ぐ連帶扱としては二千百四十二噸にして大阪行大部分を占む

▲鹽　本年夏季に於ける本品の不作は秋季に於て稍挽回せらるゝもの如く市場の如きは殆ど平年作に恢復したるが如きも海運界の殷賑に伴ふ船腹の不足より輸入甚だ難くして相場は步一步と昂騰の氣勢を示せり然れども一般漬物季節の關係上在庫品の取引旺盛を極めたり而して前月一位に有りし仁川發は前記の通り衣料鹽輸入減少の傾向の爲め出荷稍減退し前月供給手控への傾向ありし鎭南浦發鹽は同月に入り著しく增加せり前者は三千七百六十五噸後者四千噸にして釜山群山等發亦相應り鮮鹽に於て前年度に比し二千三百噸の增加を示せり

要するに同月中の貨物運輸は初頭西伯利歸還部隊の特別輸送により一般輸送力減殺されて義州及び安東發木材の如き打擊殊に著しく加ふるに平壤炭鑛所無煙炭の出荷頗る不況を呈し尙惡性感冒流行のため穀類の出廻り活潑ならず就中米穀の如きは內地市場に於ける相場漸次硬調の氣配ありて產地は賣惜みの爲め出荷著しく減退せり然れども北滿出動部隊に對する追送品或は漬物季節の關係上鹽醃送好況を呈し又鑛石の荷動き殷盛となり金物類の需要增加し漁業界の活躍に因り鹽干魚の出荷多く且つ牛の內地移出盛況を持續し稍々者の不況を補ふを得たり即ち總數量に於て前年同期に比し三分九厘の減退に止まり收入に於ては却つて十五萬七千餘圓の激增を示せり

◎滿支視察所感　福原中將談

陸軍中將福原佳哉氏は三箇月間に亘り滿鮮支那を視察し朝鮮北部を經て京城に歸著せるが其の談に曰く

余は長時日の視察をなせるも比較的其要領を得る能はず之に徵しても飛脚旅行の如きは到底其效果を擧ぐる能はざるは無論なり北京に赴きし時は督軍會議中にて督軍連と面會せるも何等得る處なかりしも目下南北和平の機到れるが如く合國勸奬あるを以て此際一應

▲和平の形式は　成立すべし而も今後果して和平に至るべきかは別問題たらん、督軍がるべきかは別問題たらん、山東省に於ては濟南を視察せるが此地は鐵路天津青島に連絡せるも山東省の物資を輸送するに止れるを以て、河南省安徽省等南方各地に通ずる鐵道を開通するに非ざれば繁榮は期し難し、山東省濟南青島の發展は一に懸りて此南方連絡の鐵道敷設にありと云ふも敢て不可なかるべし日本としては民政を軍政に改むるが如き事にては將來なく講和會議の結果如何に

▲山東鐵道を　同方面を處置すべきか余は滿鐵の一組織とせば適當ならんと思ふ、滿洲旅行中は各地に馬賊の話を聞けるが滿洲名物の馬賊は適當に之を利用すれば有利なる事少からず假令ば吉林の奧地にては馬賊を買收して石炭其の他の鑛物を安價に採掘買收する事を得べく若し馬賊に交涉せずして事業に著手せんか直ちに其襲擊を受け失敗に歸する事多し奧地に進みて冒險的に事業計畫をなさんには奉天省のみにても日本の面積に相當する有樣なるを以て今尙馬賊を無視すべからず之を研究せんが爲め馬賊となるも又面白からん

◎北鮮滿洲の連絡　吉會鐵道の價値＝滿蒙の開發　＝中村關東都督車中談

中村關東都督は東上の途次十九日午後七時二十五分南大門驛著列車にて京城通過南行せるが氏の車中談に曰く

余過回の東上は事務の打合せの爲めにして何等他に意味する所なし今迄延期されたるに過ず歸期は大抵來月の末頃たるべし吉會鐵道に關しては既に世人周知の如く著々

▲其の計畫に　步武を進めつゝあり之れが竣成の曉は東西何れの方面より觀察するも有利なること言を俟たず北鮮及び滿洲の連接せらるゝ時は政治的にも亦經濟的にも將た又地方產業の開發上にも尠からざる效果を齎すことは既に明かなる事也吾人は一時も早く竣成せしめ度き希望を有するものなり凡そ滿蒙の開發には人を得ると得ざることに在つて決して種々の規則乃至條例の備不備にのみ關するものに非らざるを思はしむるものあり滿鐵の組織改善の如きも偶々世人の噂に上ることありと雖も要は人を得て活動せしむれば其の事業の如何に複雜繁多に進展するも尙ほ充分之を處理し其事業の實績を期することを得るものと信ず、滿蒙の開發には先づ其地の情勢を

▲世人に周知　せしめざるべからず大連の如きに在りても內地人の相當地位ある人にして尙內地人の相當地位ある人にして其地の情勢を知らざるものあるは予の常に遺憾とする所なり滿蒙の開發には先づ內地人の多くを移住せしむるに在りと言ふ者あるも移住者に對しては相當の仕事を與ふるを要す一概に內地人の多數を移住せしむればこそ效果は得難からん大連は昨今益繁榮に赴き奉天の如きも著々進展の實を擧げつゝあり之れと同時に滿蒙の生產貿易貨物の如き年と共に隆昌に向ひ之れと同時に

▲鐵道輸送力　の不足を來し到る所多少の滯貨を生じつゝありと雖も之れ全く產業貿易の進展を意味せるものにして結局國力の發展を裏書きせるものと見るべし不可なからむ若し一朝時局變轉して鐵道輸送力に對し貨客の輻輳滯貨問題勃發の如きは誠に寒ぶべき現象と言ふべし之れに依り滿鐵其他の機關は多大なる刺戟を受け所謂眼前に滯貨なる害の消長に捉へつゝあるも將來は一層其の處理に努力し

▲其の時運に　副はんこと努力し徐々向上を圖りつゝあるものなりと思惟す朝鮮の如きも全線に於て十數萬噸の滯貨ありと聞く斯の如きは未曾有の事にして寧ろ慶ぶべき事と云ふべし支那の南北安協は當然必要なることにして早晩確定さるべき問題たらん、上の途次奉天に於て張作霖氏に面會する所ありしが彼は日本及び日本人に對し少くとも惡感を抱けるが如き樣子を見受けず政治上は別問題として少くとも吾々個人人に對しては寧ろ好感を抱けるものゝ如し

◎支那に於ける煙草戰　東亞の進展＝菅野東亞社長談

菅野東亞社長は二ケ月前支那本土を經て滿洲に出張し十九日夜南大門發列車にて東上の途に就きたるが曰く

▲朝鮮に於ける東亞煙草の製煙業は近く煙草專賣制の實施に伴ひ

▲圓滿終結　を告ぐる譯で今後會社の活動は支那に主力を注がねばならぬ、滿洲では多年の努力により會社の勢力は隨分伸張し之れを英米トラストに比し彼れ三吾れ七の優越な地步を占めて居り今後も益々進展して行けると信ずるが支那本土ではトラストの出發以來既に二十年の歲月を閱してゐるのに東亞は未だ十二年にしかならず乃ちその立ち遲れは東亞に非常の損失を來し公平に見て現勢は彼れ八吾れ二と云ふ狀態である、今後はトラストと極力奮鬪し彼我の勢力を五分々々とするまでには大なる困難が伴ふだらうが必成を期して進出する覺悟である、年內に操業を開始する東亞の天津工場は略京城の工場に近い位の規模であるが今後支那に於ける

▲事業の進展　に伴なひ逐て擴張して行ける準備はやつてゐる、職工は支那人を使役するはずだが煙草職工として支那人の能力は朝鮮人より餘程劣るやうである尙ほ銀價騰落の前途は吾が對支貿易に關する所甚大なるが大勢は安いとしても目先尙は弱かるべしとは思はれぬ强さうで支那の通貨は依然頗る强い所がある

◎貨物列車旅客扱

滿鐵京城管理局にては季節柄旅客激增し急行列車は常に滿員の盛況を呈し居るが爲め二十日より南大門發午前九時十二分の貨物列車に金泉大田間何れも客車を連絡し一般旅客の取扱ひを開始する由なるが同區間內發著旅客にして右列車を利用する時は急行列車に於けるが如き混雜を來さゞる可しと

◎中村都督通過

中村關東都督は東上の途次十九日午後七時二十五分南大門驛著列車にて京城通過南行せり

◎鷄林農林認可

慶尙北道漆谷郡漆川面雞岩洞［illegible］國有林野［illegible］出願中の國有林野の借入又は買受［illegible］又は排水事業［illegible］林產物の賣買及び委託販賣農林經營に關する諸請負又は受託農林者に對する金融並に附帶事業を目的とする鷄林農林株式會社（資本金二十萬圓）を大邱に設置の件は十二月十日附を以て許可せられたり

◎教育懇話會開會

京城府教育會にては來る二十一日午後二時より私立淑明女子高等普通學校に第十二回懇話會を開き過般內地教育視察に赴ける一行の視察談を試むる筈なるが其次第の如し

內地視察談　京城女子高普教諭　玄［illegible］　西洞普通校訓導　中島［illegible］　淑明女高校敎員　李［illegible］

◎龍山元町小學校長

龍山元町尋常小學校長は故鈴木校長殉職以來缺員の儘なりしが十六日附を以て龍山元町尋常小學校長山本吉久氏兼任する事となりたり

◎參謀部雇員採用

朝鮮軍司令部參謀部にては臨時雇を採用する由なるが學力程度は小學校卒業以上にして算筆心得ある者にて老少を問はずと

人事消息

▲菊池常作氏（辯護士）　十五日夜入京

▲大內代議士　十九日夜退京內地へ

▲大石釜山地方法院部長　同上

▲戶山少將　廿日朝退京平壤へ

鳥瞰錄

◎友會の集まりで貝山本農相に五十枚の揮毫を頼んだ、すると農相は『五十枚はチト偉過ぎるが一體相場は何の位ゐるだネ』と聞くと『大臣方は五圓ですヨ』と云ふ▲『五圓ぢや安い、俺も此處に書いてる暇は無い、自腹許り金で寄附するから夫で勘辨して呉れ給へ』『某氏流で、イヤ貴方のはもッと高いんですから記念の爲め是非書いて戴きたいんで』と巧に持ち掛たので農相據所なく承諾した▲時すぎて某氏もう少しは出來てるだらうと十五日の朝出掛けて行くと『ヤア君やつぱり金にして呉れ給へ』でおヂャン▲實際山本農相は怜悧だ大臣になつて金箔がついたからとて急に字が上手になる理由がないから揮毫して居たが秘書官の瀧正雄が『まづいなア』と云つたのがグッと應へて、爾來如何に懇請するも書かないのださうな▲瀧秘書の眼識も正當であらうし內相も筆を折つた方が怜悧な仕打だ▲田舍の宿屋に行くと其邊の地方長官さんなどの書がよく麗々しく額になつて居るが其下に坐らせられ旅客はいつも恐縮する▲マア大臣でも長官でも餘り筆墨を使役せぬ方が人助でもあるし第一國家經濟の爲に得だ

故鈴木校長遺族　吊慰及獎學資醵金

龍山元町小學校長鈴木志津衛氏が同校の出火に際し御眞影を安全の地に奉遷せんとし猛火を踏みて奉安室前に進み拜跪したるまゝ壯烈の最期を遂げたるは事實に於て國民思想上に大なる教訓を貽したるものにして永く後昆に傳ふべきの事蹟なりとす而も氏には老母尙堂に在り妻遺孤亦其の倚る所を失ふ洵に以て痛悼に堪へず爰に下記三社は遍く江湖に向つて吊慰及び遺兒獎學資金を聚め聊か氏が在天の靈を慰せんとす庶幾くは御賛同あらんことを

一、金額に制限なし
一、期限は十二月末日を以て締切とす
一、義捐者には別に領收書を出さず三社發行の新聞紙に揭載して之に代ふ
一、特に龍山各位の爲には十八銀行支店及び出張所に取扱ひを依賴せり

大正七年十二月八日

朝鮮新聞社
京城日報社
每日申報社

◎張氏に警告

東三省巡閱使張作霖氏の中央支那政府に於ける行動は［illegible］張巡閱使が［illegible］を以て赤［illegible］天津［illegible］同時に和平［illegible］且つ其軍隊を中央に送るが如きは支那全土の統一を妨害するに止らざるもの、如ければ和平運動の前途の最も大なる障害は除去せられ［illegible］（東京）

神戶期米

十九日後場　三六、七五

揉みと保合ひしが前場の下げ過ぎ反動と値頃買に三十臺に吹出し十六錢と强硬に打止めたり

後場中限三圓三十［illegible］錢九錢八錢七錢五錢二圓三十圓十錢四錢二十錢一錢十七錢八錢九錢二十錢三錢四錢二十十九錢八錢七錢六錢七錢八錢［illegible］八錢三圓十錢

十八日の二月限　寄付二十九［illegible］九十五錢

讀者文藝（一等には五十錢の圖書切符を呈す）
◎懸賞除隊兵さかけて

讀者文藝課題及募集規定
□募集規定　▲用紙ははがき又は同形の用紙一枚毎に雅號又は姓名の外に住所氏名を明記の事

實業之日本

海洋の自由　日本の立場
獨逸の敗因
講和會議に於ける人種及宗教的差別の撤廢
過ちを重ねざる用意
準備論
掉尾の文字
年の暮、貧乏人のイバリ時
小商人小工業者に金融の忌避
歐洲戰爭　石炭爭奪
年末劇務家の眼鏡の爲め
驚くべき蘭貿易の大發展

造船講義錄
新學期開講　技術員缺乏の急に應じ最新式通信教授を以て技術習得

年末年始の手紙を
縮刷十八版　芳賀博士　杉谷代水兩先生共編　作文講話及文範　天金一本一二四〇頁　定價一圓八十錢
縮刷廿七版　芳賀博士校閱　書翰文講話及文範　天金美本一〇二〇頁　定價一圓七十錢
如何に優麗典雅に認むべきか
書翰文講話及文範別編　現代名家書簡集　第六版　天金美本八四〇頁　定價一圓二十錢
三四内容見本進呈　富山房

信用冠絕の自修書　天下獨步

洋燈類各種　瓦斯セイド　理化學用硝子器　標本菓子瓶各種　色硝子食器類一式
京城林町百六十二番地　小野玻璃器製造所　電話二七九一番
京城義州通一丁目　小野專門分工場　電話三四三番
京城永樂町二丁目　小野玻璃器販賣部　電話二八七九番

最新刊　有價證券現物賣買　關澄繁雄君著　洋裝四六判　紙數二百三十餘頁
最新刊　安全生活株式利殖　關澄繁雄君著

新時代に伴ふ御贈答は商品券に限る
高尚第一!!　經濟第一!!　重寶第一!!　便利第一!!
信義堂書店

諸官廳會社商店の賞與品に適好　大阪屋號書店

ストーブ各種建築金物　佐野彦藏商店

日本一の少年　新年號
日本海底探檢雙六　活動畫　彩色版　寫眞版　讀物滿載

日本一の少女　新年號
少女大好き雙六　福壽草　聖母の國　心の着物　母戀し

定價各廿五錢　東京時事新報社發行

◎移出驪て一億圓

朝鮮は政府の厄介者か!!!

＝實は來年から獨立で多大の貢獻をするのだ＝

米で來い、金で來い、まだ〳〵ある

內地に在る人が朝鮮と云へば今に尙ほ蠻域でも出張する所の樣に思つたり不毛の原野で年々日本から莫大な金を貰つてやつと立ち行く所位に思つたりしてゐる總督府の官吏などが內地へ出張すると朝鮮では月給は時々貰れるかなどと聞く馬鹿もあるが之は甚だ以外としての內務省などは「僕の縣には

▼牛が多いが朝鮮に移出し度い」などあまりに朝鮮に關する知識の無いに呆れざるを得ない仕末それなれば果して朝鮮は補給金を貰ふばかりで何等母國に貢獻する處の無い厄介者であらうか試みに本年の朝鮮貿易に表れた數字を仔細に觀察して見ると却々以て左樣な厄介者では無く隨分重要な貢獻をしてゐる事が判るであらう殊に戰亂以來各國の輸出禁止を行ふもの頗る多くして相踵ぎ日本の工業界を脅かしてゐた際朝鮮はよく其責務を果して出來得る限りの原料を移出して此急を救つてゐる先づ

▼食糧に於ても既に衆人周知の如く本年は二百萬石の鮮米移出があるが九割以上は內地行きであるから內地では實際これ位助かつてゐるか判らない金は正貨となつて直ちに國家の富となるが本年十月末日の調査に依る金鑛の移出額は二千七百二十九萬二千四百九斤此價格百三十二萬三千三百三十九圓に上つてゐる內地では如何にあせつてゐても此半分の産額も無い鐵は又本年に入つてから非常に增加し鐵石で十月末迄に八十五萬七千噸銑鐵で千百四十萬七千七百五十四圓（之は十一月末）も出てゐるが蓋し鐵は今回の

▼戰爭に就て最も貢獻した産物の一で有らう殊に八幡製鐵所での試驗に依ても大冶の鐵のみでは精良な鐵を得る事が出來ぬ是に朝鮮の鐵鑛を加ふる事に依て最も理想的な鐵を得る事が出來ると云ふに於ておやである黑鉛は十月末迄に一千八百萬斤此價格一千六萬九千圓に及んでゐるが之などは內地では全く產出しないや物で唯一の供給先たる鮮滿が輸出禁止を行つて以來は若し朝鮮が無かつたなら內地では年額三四百萬圓の輸入をしてゐる所製造も出來なかつたであらう內地の工業中の大工場たる窯業肥料も製造休止するより外致し方がなかつたであらう

軍事用として使用する鐵を製造する爲めの黑鉛坩堝は此黑鉛に依て拵へるかと云ふ事になると此黑鉛一つに就て見ても朝鮮は母國に對し偉大な貢獻をしてゐると云ふべし

▼牛皮の輸移出は百八十五萬四千斤此價格百六萬六千圓で英大な軍需品を製造してゐる鮮に牛を移出し度いと云ふ某縣の內務部長も之では顏色なしと云ふ可きである其他搗布灰、毛皮、銅、鋼、綿系織物海產物を加へ本年は全部原料品として八九千萬圓驪で一億圓に上る移出を見ても三百萬圓の補給金以上の事は優に母國に對し有樣で此數字を見て盡してゐる譯で來年は獨立財政の下に更により以上の貢獻をしようと云ふ意氣込みである

石炭にしても本年十月迄に卅九萬七千噸を供給した事になつてゐるが海軍の唯一の需要炭も外國からの輸入が杜絕して以來殆んど平壤の無煙炭にのみ依賴してゐる海軍の獨立も朝鮮に負ふ所大なりであると硅砂に於ても同樣二萬六千三百七十噸を供給したが輸入品絕無で價格の暴騰した硝子は朝鮮の硅砂に依て現に救はれてゐる

◎英國の女有權者

總選擧に驚くべき活躍をなす

◇新特權を得たる婦人はそれを用ゐるに躊躇せず◇

倫敦にては今朝（十四日）七時より投票を開始したるが天氣暖かりしも霧深く後雨降りたり午前數時間の光景は靜穩なりしが今回新特權を得たる婦人は其特權を用ゐるに躊躇せず諸所に於て盛に奔走せる樣最も目を惹き特に一倫敦區に於ては投票者は男子一人に對して婦人十人の割合なりハマースミスに於ては男子一人に對し婦人五十名の割合なりしこと確められたり（倫敦電報）

▽背後の婦人の力よ

英皇帝大戰に耐へた婦人を激賞する

日本の婦人の參與可否は問題だ

圖かくて婦人の地位は認められ婦人參政制が成立した英國の選擧制改正以來第一次の總選擧は電報の樣に素晴しい婦人の活動を示してゐるがそれについて某事情通は曰く戰亂で英國の婦人が活動した事は素晴らしいもので軍需品製造に從事した婦人が百萬人以上、耕作に從つた婦人は三十六萬人、陸海軍の補助軍務や看護事務に當つた婦人は二十三萬人、官廳に働いた婦人は數萬人に上りました、その結果は何うであつたかと云ふ事を最も雄辯に語る一事實は前首相アスキス氏は

戰前參政權運動の反對論者であつたが開戰後間もなく贊成論者に豹變した事です、それは目覺しい婦人の活動に刺戟され『男子の有する權利は女子も有する權利がある』と確信されたからださうです、それから後本年六月六日の英國兩陛下の銀婚式當日三千人の婦人勞働者がハイドパークからバッキンガム

宮殿に行つて祝詞を述べた時皇帝は親しく露臺に出御『今回の大戰に英軍が勇敢に鬪ひ得るは背後に婦人の力がある故だ』と激賞され、最近前首相ロイド、ジョージ氏は『吾人は婦人の報國的活動

なかりせば恐らく戰捷を得る能はざりしならん』と演說しました、斯うして

婦人〳〵の地位は英國に於て認められて來た、其結果が今回の選擧であつて非常な勢力あるもの、やうですが、六百萬の婦人有權者中婦人參政權反對の意見を有つてる人が上流階級程多く隨つて棄權者が非常に多からうと豫想されてゐたのは注意す可き事柄と云はねばなりません、顧みて日本の婦人の前途を思うて見るとなか〳〵興味がありませう、日本には參政權は男子にも漸くこの頃

要求し始め婦人社會には此事に考へ及ぼしてゐる人も有るかないか判明らぬ狀態です、併し婦人が政治に參與する事の可否は速斷する譯には行かない、英國に於いてすら婦人間に反對論者が多いのですから。

葡國大統領ピエス氏

（暗殺された葡國大統領ピエス氏）

◎死んだと思つた子が……お正月に歸つて來る

◇平野丸生存者の家◇

痛ましき最後の犧牲船となつた日本郵船の平野丸の乘組生存者十有九名が來る廿四日傑船丹波丸の人となつて神戶の港に歸ると此報を齎して生存者の一名なる見習給仕岩本岩太郎（一七）の實父同太郎氏を備前西臼部池の坂の自宅に訪れたが同氏不在とあつて母堂いね子が代りて喜び顏に其の感想を語る『未だ郵船の方からは何等の報知もありませんが廿四日には眞實に生きて

◆……歸つて來るのですか岩太郎が船乘りになつてから最初の航路で戰地へ行くのは危ないからと主人とも話したのですが何んでも彼でも行つて見たいとの本人の希望でしたから許してやつたのですが擊沈の報を聞いては居ても立つても居られ無い苦しさで殊に岩太郎の弟や妹が『母さん兄さんは死んだのかしら』と聞かれた時なぞは眞實に遣る瀨無い悲しみが胸に込み上げて來て仕樣が無い、只一度コロンボからよこした子供らしい手紙さへ

◆……淚の種となつたのですが……此節嬉しい事はありません殊に一家中斯うして長男の無事な顏を見て擊沈當時の物語りでも聞き乍ら新春を迎ふる事が出來るとは此際幸福な事がありませうか』と包み切れない欣慰の情に咽い母の淚さへ頰を傳うて流れ落ちて居た（稿山電信）

◎自動車列車に衝突

小倉市にて

小倉市船町逸見商市の自動車エフ四十八號は十五日午後五時半市外小倉鐵道二號踏切りに於て東小倉發の上り八號列車と衝突跳飛ばされて大破し乘客四名の中二名負傷せの汽車は損害なく二分停車の後發車せり（小倉）

◎大麻と新暦

大正八年度伊勢神宮大麻及び新暦は目下京城神社職員にて一般に頒布しつゝあるが頒布遺漏の處あれば希望の人は京城神社社務所に申出でて頭申受けられたし

◎出羽海部屋で激しい稽古

宇都宮と兩國の返り咲

大相撲の春場所興行は五日番附發表十日初日と決定した九州巡業の梅も咲き出で、楢落しの偉風これより賞に讓事となるであらう春場所が漸く近付くに從つて各

▽巡業先から各組が續々と歸京する既に朝潮伊勢ノ濱組は十七日に歸京し栃木山、大錦、鳴門、千葉ケ崎の一行は廿二日頃、浦の濱の一行は廿三日頃何れも皈京する豫定である十六日出

▽初稽古を行つた尤も羽の海部屋では栃木山大錦一門に先立つて皈京した大門岩若常陸等其他幕下連や新弟子達が夏場所後の大門岩と若常陸は巡業中に痛めた手足の關節がまだ十分でないが幕下の關ケ原山羽の浦和歌の海、大浪などは元氣なもの朝の七時から稽古を始めたが下素と違つて大頭株が居ないので孰れも閑暇氣取りで十一時頃まで

▽此寒さに汗みどろになつて盛んな申合ひをして居たと

◎暮の犯罪

圖青年が華美に流れた結果である……

刑事買ひといふ犯罪が朝鮮にも出て來た

◇富の不均から起る……

◆不均衡から起る犯罪は昨年よりも餘程多く當地方法院取扱件數昨年度四千八百件が本年は既に五千百餘件にも上つて居るが世の進歩につれて流石に强盜や殺人罪の少くなつた事も確であるがそれに反して最も智謀を廻らした詐欺取財が段々殖ゑて行く事も爭はれない事實である尙ほ最近著しく殖ゑて來たのは阿片煙に關する犯罪で之は其筋が嚴重に取締つて居るにも拘らず殖ゑて行く、要するに戰後の好況に伴うて多少でも儲けた者は忽ち成金氣取りで大ぜうな振舞ひをするに因る反面には低廉な賃金で苦しみ乍ら何うにかして年を越さうとやら貧困者もある斯うした富の

◆刑事買ひの犯罪が近來京城に於て行はれて來た此犯罪は惡質な犯罪で先づドラ息子が金の入用を見込んで然の口から金を貸す者がある即ち一寸借りた人が後に返せないとかなると此の金を貸す云ふのでドラ息子は早速刑事を買ひ込み相手方を嚇すと云ふ、これ迄のは一時で入るのは一度切りで手に入らぬと彼等を嚇かして一旦は泣き寢入りにさせて示談にさせる事が多いが此犯罪は多額で高利貸かドラ息子に多い

◆告訴すると嚇すので親は子可愛さに泣く泣く支拂ふと

◎賃餅の……

標準値段

一圓廿錢以下か

京城警察署では賃餅の標準値段を決定して十六日午後四時府內の賃餅屋を呼出して暴利を貪り且不正な販賣をしては不可ないと懇論を嚴重に取締るやうに命令したがそれについて當局は語る『賃餅の値段は市內悉く變つて居る其は其の原料の高低から來たものが斗に就き二圓と云ふ値段があり又一斗二圓三十錢のもあるがまず値段を平均して見ると今年は一斗一圓十六錢の割に當てそれでも昨年に比較すると大變高い夫れ、標準價格を定めるので違反者は相當に處罰すること

になる尙賃餅一枚は普通一升五合で目方が八百二十匁から八百十匁位である故に八百匁以下のものは不正品として取締ることになつて居る』

年末雜觀（三）

贈答品としの鳥が何處の家庭でも悅ばれるが鷄を逆吊りなどは餘り感心した事ではない殊に內地に贈る鳥は、何れも氣が附けぬさんだ大脈を流する、苦難なども知々島屋の前に立つが何時廢れたか明らかでないので第一に残損の念が生ずる此の味に惜て鳥……きんたるもの一つ論道德とかなんとかして少々面倒だが警察の檢印を捺してもらつて錢れた日附に括つておいたら如何。チー者さん、さうすれや互に氣持ちよく買はれるぢやありませんか（而）

▽源氏山には大錦も九州も殆ど勝味が薄く毎時も二本を壓されて仕舞ふ殊に宇部宮と兩國が非常な元氣で宇部宮は博多で幕內決勝五番の時藤の川琴ケ浦駒ケ嶽木山三杉磯などの若手連を總崩しにして驚かせた

寺の連中の大頭株に對する下馬評が却々面白い、一行は九州其他で一鳳千葉ケ崎一行と合併したが所に劣らぬ眞劍勝負を遣つたが兩一行中で一番强いのは何んと云つても栃木山次が大ノ海と大錦で大錦の方が分がよく而して

故鈴木校長弔慰及奬學資金寄贈者名

（第十一回）

李王職有志

一金九拾圓　職員一同
一金拾圓　慶尙南道昌原公立普通學校
一金九圓　京城府觀光町四八　遞信局監理課 職員一同
一金五圓　江原道寧越　夏目田張所
　　　　　城部巨濟郡 和田光良

（第十二回）

一金五圓五拾錢　京畿府立高等女學校 職員生徒一同
一金拾四圓八錢　京城日出小學校 生徒有志一同
一金參圓　木町一丁目 高橋珂瀬松
一金壹圓　京城府元町一 八木常次郎
一金五圓　南山町二 山田桂三郎
一金參拾五圓　京城府職員一同
一金五拾錢　林　花子
小計金百七拾圓九拾八錢也

一金五拾七圓　京畿道廳職員
一金拾圓　遞信局計理課調度係員一同
一金五拾錢　神田喜三郎
一金拾錢　嶌山
一金五圓　日本赤十字社朝鮮本部 松井健造
一金七拾五圓五拾錢也　茂木和三郎
小計金貳千八百九拾五圓八拾八錢
累計
五厘也

演藝

▲海の娘　十九日より有樂館にて上映せる人情劇（海の娘）は伊太利ユニヴァーサル社の特作品にして女優界の明星ルイズラブリー孃の出演に係るもので近來稀なる文藝的作品なるより好評頗る其の他主なる寫眞は左の如し

▲喜劇宿屋の悴▲貨物石炭投上げ▲マカロン▲軍事悲劇愛國心▲軍事教育參考實寫地雷元坑に炮火

京日案內

一、一行案內は十行以內一回前金一圓（以上每行增十錢）
一、前金二回以上の申込後金は取扱はず。
見本として左の案內を掲ぐ

◎京日案內　日光廣告 不用品賣買及官吏會社 賣買等其他名刺 本町

（四）京城府本町　二七 廿七　勅任官代　朝鮮家屋貸人　好家借安　旭町一丁目一四九　板井

代診一名入用　希望者至急申込まるべし　京城日報仁川支局

七味唐がらし　卸小賣　東京日本橋淺草　京都清水七味家製特約大販賣所　京城本町二丁目七　京城日報　拍　屋　店

◎簿記係一名入用　希望者は自筆履歷書携帯乙來談　南大門外　齋藤商店　電話三一六番

外務員招聘　保險の業務大擴張の爲め社員を増員すべし　數名の希望者は一度出社面談あれ　京城府黃金町二　日清生命朝鮮支社

爲替立替　御振替金は御渡し致します　地方は規定書送呈す　電話三〇壹番　京城府若草町郵便ポスト前入　西村商會

ほねつぎ　うちみ　くじき　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場

旭炭團卸小賣　大勉强　京城龍山間遠近多少に依らず配達仕候　南大門通り成湯前　宮崎商店　電話取次四八一

◉金細工職人募集　京城黃金町二丁目電話一〇一五番　喜多金光堂　金工部

大正式製繩機

實驗用大割引　本機は事業として最も有利なる二十種の製繩機進呈製造機械自在也說明書及向ランプ島具バリカン農具定價表進呈　東京本所長崎町三日本發明時報

株式會社百二十銀行　定期第十五回株主總會ニ依リ大正八年一月一日ヨリ總會終了迄株式書換ヲ停止ス　大正七年十二月

濟生堂鍼灸療院　藤井百太郎　京城本町三丁目東郵便局　胃腸病婦人病專門　入院隨意　治療時間 午前九時より午後 一日五十名…限り…　時限

勉强しても事務をとつてもすぐ疲れる人。夜間安眠出來ぬ人。常習頭痛の人。婦人血の道。生殖器障害の人に。

泰昌のほんとによく効く藥は

唯一つ　エクレス

定價　試用　二十錢　小　五十錢　大　一圓卅錢　特大　三圓

ヒステリーと神經衰弱の說明書無代進呈

エクレスは高橋博士監督の下に幾多の學士が今日醫藥强壯元として第一の研究ある三共株式會社の最新藥な原料として研究に研究をかさね確實なる効能ありと認めて社會に發表せしものにして頭痛、神經衰弱、ヒステリー、精力減退に驚くべき効能あり。全國藥店にありなくば、本社に注文あれ。

東京室町　泰昌製藥株式會社

丁子屋の大賣出!!!

歳末廿一日より三十一日迄▲▲▲▲▲

既成品全部五分引▲▲▲▲▲▲提供

絶體他に超絶せる弊店特製既成品今回多數品揃申候

歳末に際し平素の御愛顧に酬ゆる爲め絶體忠實なる正價に對し更に

五分引の特價を以て提供可申候陸續御用命希上候

トンビ＝霜降メルトン。スコッチ。ラクダ裏アルパカ又はカイキ…三十五圓・四十圓・四十五圓・其他各種

オバーヒウト＝色スコッチ。霜降スコチ。色メルトン裏アルパカ朱子地＝二十八圓＝三十五圓＝四十五圓其他各種

小兒マント＝男兒用…黑ラシヤ黑メルトン…裏赤ネル或は朱子丈尺八寸より三尺迄價格八圓五十錢以上各種…女兒用…縞メルトン縞スコッチ裏赤ネル又は朱子丈尺八寸より三尺迄價格八圓五十錢以上各種

地方より御注文は當方にて御見立御送附可申候

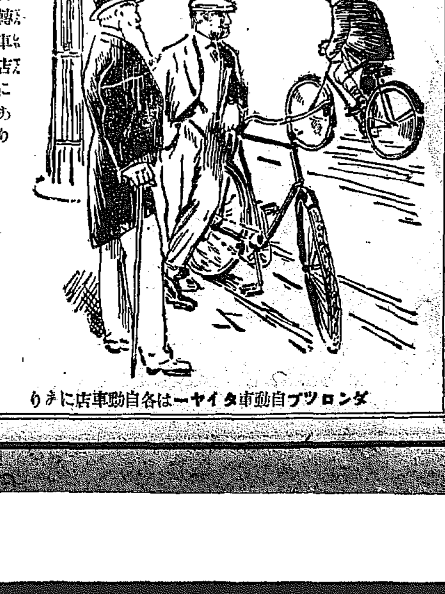
京城南大門通二丁目

丁子屋洋服店

レデイメードストア

電話二三、二〇、六九番

振替口座京城二八八番



ダンロップ自轉車タイヤー

使用中故障の虞なく飽迄耐久にして結局最も安價となる點に於て

は正しく凡ての需用者の理想と一致す

到る處の自轉車店にあり

ダンロップ自動車タイヤーは各自動車店にあり

母と子 (五十七)

北島春石作 森田久畫

自動車(一)

空には霜あるが如き星のまたゝき、風は地を掃くやうに吹きすぎて、眞夜中に近い中洲の河岸通りには犬の子一匹小迷はず、今年に入つて初めての嚴しい寒さ。

それを、繞ミ態ミの二筋道なればこそ、もう大分前から佐久間詮一は、この附近をうろうろしてゐる。

背廣の上から着込んだオーバーコートの襟を立て、ラクダの襟巻をぐる〳〵巻き、中折帽の鍔までさげてすつぽり冠つてゐるが、それ散では迚も寒氣が凌げるものではない。

明橋と女橋の間を行きつ戻りつ今にも約束の合圖があるかと思つて、街燈ほの暗い門口へ佇つたのも幾度か、下婢除の通ひ口から這込んで屋後へ廻り、石崖を踏外して危く水雜炊を御馳走になりかけたのも數知れぬが、さうまで苦勞しても、先方からは駿の隙の一向に音沙汰なし。

しかし、芳町から尾けて來た朔平が、それから南北ミ梯子酒して飲み廻るのみ餘所な からお供をし確かに我が家へ歸つたを見屆けてゐるので、寶の山へ入りながら、手を空しく引揚げる氣にはなれなかつた。

何うせ三時間も五時間も辛抱したのだ……切めてはもう十五分、もう半時間をミよもやに引かされ到頭こんな夜更けまで、無宿犬よりも慘めな有樣を繰返した。

『畜生！何うせ生涯女房に持たうミ云ふんぢやない。やがて、この復讐をしてくれるから、その時に吠面掻くな。』

さうは忌まくしさに悪舌を吐き散らしたが、相手がなくては泣言と聞ゐるばかり。

『ね、……今まで待つた序だ、夜明けまでは動かぬ覺悟を極めよう。』

それにしても、何う寒くちや溜切れない。スペイン風邪にでも憑込まれたら一大事、まづは悪魔除けのお呪ひをと、川口橋の袂まで引返し、おでん燗酒の屋台店に飛込み、がんもどきを下地に烈々たる熱い酒を二三杯、その戻りがけに怪しい正宗を一本、そいつをラッパ飲みしながら、元の女橋まで引返すと、何處の鐘聲とも知れず寒い河風に吹き送られて二時を告げた。

今度こそは何とか消息があるだらうと、先刻から二三度も行き通ひしてゐる下婢除の通ひ口から覗ひ込み、嚴重に取圍んだ塀外に佇み、念のために口笛を吹いてみたと、音ともなく雨戸が四五寸ばかり、屋内からぱつと射出だし

明かるいなかに、紛れもない淡紅子の姿。

『……淡紅子さん！』

『佐久間さん……』と、先方でも必そめき聲で『わたしね、ごんなに先刻から待つてたか知れなくつてよ。』

さては、女の方でも此方の合圖を待佗びてゐたのかと、宵から待たされた怨恨も解けて、詮一は我を忘れた喜び聲。

『何うです？巧く行きましたか。』

『あ！そんな大きな聲を出して。』と、淡紅子は慌て、手を振つた『やつと皆なが寢付いたばかりだから……お父さんが眼でもさましたら大變よ。』

詮一は愕然として首を縮めた。

そして、暫くしてからおづ〳〵見上げると、雨戸は元のまゝで明放しになつてゐるが、そこにもう淡紅子の姿は見ゐなかつた。

だが、こゝまで漕著けたら大丈夫だと、黒塀に凭れて正宗の殘餘を飲んでゐると、帽子の上にヅシリと大きな風呂敷づゝみ。

ふいを喰つた詮一は、按摩が犬の尾を踏んだよりも驚き、慌し、その塲を飛退く途端に、第一撃につゞいて三つまでも投出された後雨戸がピッタリ鎖されたので、四闇は鼻をつまゝれても判らぬ濃い暗につゝまれた。

それから又暫くすると今度忍びやかに内庭を踏む跫音がして、黒塀の潜戸が音もなく啓かれた。

『佐久間さん、さぞお待ちなすつたでせうね。』

『今夜で三晩つゞけて五時間たらず……』と詮一は淡紅子の方へ摸り寄つた。

『例の一件は何うでした?』

京城の名物(京城南大門通三)
カフエータイガーの
洋食とすき燒

奧樣覺え帳

近頃都鄙共に學校の先生へ盆暮に生徒から贈り物をする方が非常に殖ゑました、學校の方では決して之を取つてはならぬ内規になつて居りまして、若し贈り物を貰つたと云ふ事が公然になりますと其先生の進退にもかゝるやうな問題になります、▲之れは苟くも學校の先生としてお上から相當に俸給を貰つてる以上は決して取つてはならないものでありませう然るに生徒の父兄特に尋常科に通ふ子供を持つてる親は何うも自分の子の愛に引かされ、又半生自分の子が學校でごんなにか先生方のお世話になつてるかを考へると御禮を！たいのは當然の情であります▲そこで先生に對して心ばかりの贈り物をする事になるのですが、併し此贈り物は誠に善し悪しであります大ですから若し出來る事なら學校内にある父兄會で盆暮に此の贈り物をする爲めに世話人を設けて子供等には知らせずに贈り物をしたら何うでせう▲又よしんばそれでなく單獨に贈り物をしても之は一切生徒を使にやつたり又生徒に知らしてはなりません、生徒に知らせると之が爲め生徒が先生を輕蔑するやうになるからであります

◎巧くなつた化粧法　近頃どんな田舎へ行つても十前年と比較して美人が多くなつた　化粧法が巧になつた爲めで其の原因は我國化粧品の優秀なるに依るのである。現在我國の化粧品の中でクラブが好評判を博してゐる、クラブ白粉は無鉛でどんな荒れ性の人にも脂性の人にでも具合よく綺麗に塗いて塗り上つた所が高貴で洗つた後の生地の色までも白くなると云ふ不思議な効力が持つて居ることであると云ふ

京城本町
千代田號印舖
電話 八九七 八九〇番

讀者の領分

▲故鈴木稜……は生徒の……室に掛する教訓的言……を極めて稍細に拙なし……にる人にして其精神……んで山をなせりと聞く……(忠君生)▲十七日私が狼から歸り……永登浦より東七丁ばかりの鐵道線路より茶色毛三寸ばかりにて切斷しある大なる獵犬迷ひついて來ました首輪には京城府七三〇號の鑑札とヤマザキと刻してありますお心當りの方は至急おいで下さい▲十七日私が狼から歸り途中の洋服の小さき本を御譲りの方は有……りませんか有れば御知らせ願ひます又同處の本屋で賣られますか　お教へを願ひ致します(平壤 乙百姓生)

◎南北會議々題　財政問題除外

り此の結果北京政府も代表者を一名増加し都合十一名を派遣する事

に開催の確定にして其の名稱は南方側が和平會議の名稱を好まざる

やの問題より延いては軍民分治の根本問題に入るべきが只節制改革

支那政府を代表して講和會議へ列席すべき外交總長陸徴祥氏は在京

合せの結果既に完全に意思疏通せるを以て劉氏は退京北京へ向け歸

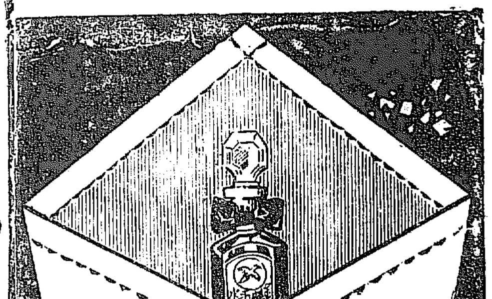
な日本が繼承するは勿論なるが將來青島の開放も實現するに至るべ

置けば置く程美味くて品の良くなる世界一の葡萄酒
赤玉ポートワイン
歳末年始御贈答の最好適品
先方の健康を祝する意味に於て体裁良くて贈答品として至極格好よし

最新刊
南天棒 提唱碧巖集 定價三圓五十錢 送料十八錢
西伯利案内 定價七十錢
織田氏時代前 定價一圓六十錢
日本商業地圖
▲大正八年度 日記類 賣切れぬ内に御注文之程願上候
京城本町一丁目 大阪屋號
黄金町長谷川町入口 田村質店 電話二九一六番

スワン石鹸

嘗て一世の英雄ナポレオンを威壓した「冬」と云ふ強敵が突進目睫の間に逼つています、諸君は夫れに對する準備が出來てゐるであらふか?
唯一の秘訣は
諸君の皮膚を鷲毛の如く白く滑かにするスワン石鹸を不斷使用して皮膚に防禦工事を施される事です。
平和來る！
然し強敵は何時も諸君をつけ狙つて廻る
製造元
日本リーバー・ブラザーズ株式會社


お歳暮に…お年玉に
金鶏香水
贈り物によし…お返しによし

金銀時計 製作販賣 京城本町 仁川 岐阜屋商店

みやこ
到る處の御家庭で大好評
招味噌大賣出し
到る處の信用ある食料雜貨店にて販賣して居ります

賛化病院 京城明治町一丁目 電話二四番 内科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り施療す 醫學博士 古城憲治 金澤醫學士 打田義芳

京城龍山等各地に偽物有 御注意
全國到る所の都市朝鮮滿州南清台灣等に支店あり
讀者諸君の他藥店販賣不許
京城龍山仁川等各地ににせドラッグあり購着せられざる様御注意を乞ふ
朝鮮のにせ物
京城黄金町三丁目(全支店) 龍山練兵場前停留所(全支店) 釜山大廳町三丁目(全支店) 元山本町三丁目(全支店) 平壤櫻町十二番地(全支店) 仁川宮町二丁目(全支店)
京城南大門外停車場通 大阪有田ドラッグ商會滿鮮本部
にせ物にせドラッグあり 東京大阪各地に
◎あらゆる治療をなすも効なき患者宛に角一度來談あれ
大阪有田
分析料 百圓 進呈
帝國醫科大學病院等にて實揚配劑せる高貴藥なるを保証す若し前述の証言に違へる事を發見せる時は
淋病藥主藥は治淋劑として梅毒藥主藥は驅梅内服藥として醫學上最有効と確定し
りん病 ばい毒 合藥
大阪北詰角
百圓 進呈
東京 大阪心齋橋筋本町 日本橋通四
大阪 有田ドラッグ商會